

評 価 資 料

平成 22 年度水と緑の森づくり事業 事業費の概要	1
富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等	2
I 水と緑の森づくり推進事業	3
II 里山再生整備事業	5
里山再生整備事業実施状況一覧表	7
里山再生整備事業実施位置図	9
III みどりの森再生事業	10
みどりの森再生事業実施状況一覧表	11
みどりの森再生事業実施位置図	12
IV とやまの森づくりサポートセンター推進事業	13
県民参加による森づくり参加延べ人数	14
V とやまの森づくり総合情報システム事業	16
とやまの森づくり総合情報システムで提供する情報	17
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	19
「森の寺子屋」開催実績	20
フォレストリーダースキルアップ研修実績	25
VII 県産材利用促進事業	26
事業の実施と利用状況	27
アンケート結果	29
VIII 県民による森づくり提案事業	41
実施主体別の活動状況	42
アイデア提案一覧	49

平成22年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

○ 富山県水と緑の森づくり基金積立額 341 百万円

内訳 水と緑の森づくり税込相当額 340 百万円
 寄付金、運用益 1 百万円

○ 水と緑の森づくり事業実施額 343 百万円

※百万円以下四捨五入により各事業の和と事業実施額は一致しない。

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善

I 水と緑の森づくり推進事業 3 百万円

水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

II 里山再生整備事業 128 百万円

III みどりの森再生事業 160 百万円

とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進

IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 23 百万円

V とやまの森づくり総合情報システム事業 4 百万円

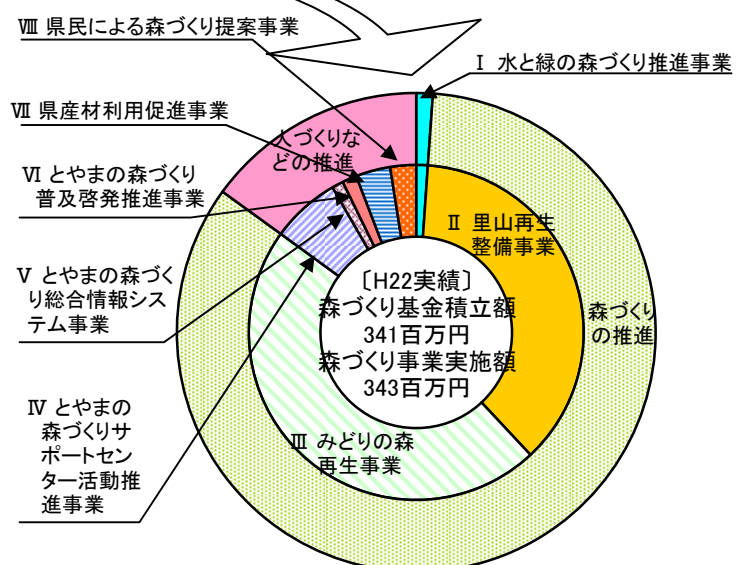
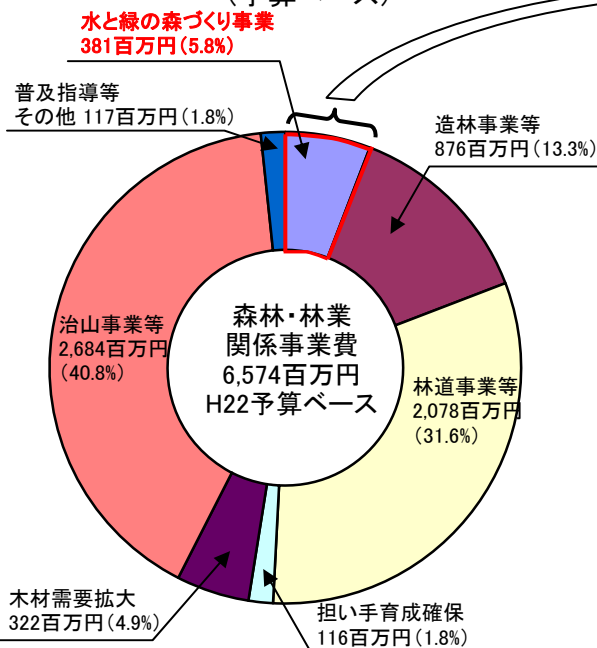
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業 4 百万円

VII 県産材利用促進事業 12 百万円

VIII 県民による森づくり提案事業 8 百万円

平成22年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
 (予算ベース)

平成22年度水と緑の森づくり事業費の内訳
 (実績見込)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒実績	H㉓計画	H㉔目標
整備面積 (ha)	366	373	333	145	80	
延べ面積 (ha)	366	739	1,073	1,218	1,298	2,000

混交林の整備

整備面積 (ha)	61	74	132	212	220	
延べ面積 (ha)	61	135	268	480	700	2,000

○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒実績	H㉔目標
年間参加延べ人数 (人)	6,920	10,033	10,999	10,262	7,000

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成22年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成22年4月19日

- 議題
- ・ H21年度事業実施状況、H22年度事業の取組みについて
 - ・ 県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査
 - ・ 水と緑の森づくり表彰について
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

第2回 平成22年12月2日

- 議題
- ・ H21年度事業の評価結果、H22年度事業の実施状況について
 - ・ 県民による森づくり提案事業(アイデア提案)の審査
 - ・ 水と緑の森づくりに関する県民意識調査の結果について
 - ・ 後期森づくりプランの検討の方向性について

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成22年6月17日

- 内容
- ・ H21年度の事業評価の実施
 - ・ H22年度の事業概要の報告
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

(3) 森づくりの広報

水と緑の森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

- | | | |
|-------------|---------------------------|----------|
| 7月4日 | 地産地消県民交流フェアに出展(富山市・環水公園) | |
| 10月2,22,30日 | 県政番組の放送(KNB、BBT) | |
| 10月1 箇月間 | ローソンに「とやまの森づくり」パンフレットを掲示 | |
| 10月30,31日 | とやま環境フェアに出展(高岡市・イオンモール高岡) | |
| 10月2日 | 森づくりタウンミーティングの開催(富山市) | |
| 11月7日 | | // (高岡市) |
| 12月18日 | | // (魚津市) |

ローソンでのパンフレット掲示



森づくりの実施状況などを紹介するパンフレットを作成し、県産材ラックに入れて掲

とやま環境フェアに出展



パネル展示、県産材遊具体験、森の寺子屋を実施し、森づくりを広くPR

タウンミーティングを開催



知事から森づくりの実施状況について説明

(4) 県民参加の森づくりフェア

4年目を迎えた森づくり活動の理解と参加を更に進め、県民参加の森づくりを加速化するため、森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加する、見て触れて、体験し、交流する「県民参加の森づくりフェア」を新たに開催しました。

5月28日（射水市・太閤山ランド）

内容

- ・水と緑の森づくり表彰

優良な活動を行っている森林ボランティア団体、企業を表彰（5団体）

受賞団体名	代表者名	所在地
ぞうきばやし 雑木囃子	石崎 千鶴子	砺波市
とやま森林サポーターの会	稲垣 寛	富山市
NPO法人南砺の山々を守る実行委員会	桃野 忠義	南砺市
北陸功・コ-グループ「うるおいの森づくり」有志の会	岡田 裕之	高岡市
森づくりボランティア「 ^{てんばやしもり} かい 天林森の会」	長谷川 貢	立山町

- ・見る・触れる

- ①パネル展示による「水と緑の森づくり事業」の取り組み状況の紹介
- ②チェーンソーやチップパー機など林・センターの貸出用機器の実物展示 等

- ・体験する

- ①県産材積み木や木育推進のための県産材遊具体験コーナーの設置
- ②森の寺子屋の開催

- ・交流する

- ①水と緑の森づくり表彰受賞者と知事との森づくりトーク（活動事例発表、意見交換等）
- ②森林ボランティア団体等によるパネル展示

県民参加の森づくりフェア実施状況



水と緑の森づくり表彰



貸出用機器の実物展示



県産材遊具の体験



森づくりトーク

(5) 水と緑の森づくりに関する県民意識調査（緊急雇用創出基金活用）

これからの森づくりについて、「水と緑の森づくり税」のあり方も含め検討するため、県民意識調査を実施しました。

調査対象 県民 2,500人 企業経営者 1,000人

調査手法 無作為抽出、郵送返送方式

調査期間 県 民：平成22年11月6日～15日（10日間）

企業経営者：平成22年12月1日～10日（10日間）

最終取りまとめ 平成23年1月28日

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成22年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動の支援などを行いました。

【平成22年度実績】

事業実施地区	97地区（13市町）
対象面積	846ha
事業主体	市町村

実施例：黒部市下立地区



うっそうとして、見通しの悪い里山は、クマなどの野生動物の生息域の拡大にもつながる



野生動物との棲み分けを目指し、見通し良く整備



見通しが良く、明るい里山を保つため、地区住民が、刈払いや林内整理を実施

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

【平成22年度実績】

事業実施地区	37地区（14市町）
除去量	2,630m ³
事業主体	市町村



道路沿線にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用促進事業

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【平成22年度実績】

- ・かぐや姫の里デビュー講座の開催（6月5日 75名参加）
穂先タケノコなど新たな利用方法の指導
- ・とやまの竹資源ネットワークの活動（3月末現在 94団体参加）
竹材回収車（かぐやの竹舟号）の運行案内、調整（氷見市、高岡市、砺波市）
- ・かぐや姫の里の集いの開催（10月30日 159名参加）
竹林の管理技術、竹材の利用方法を指導
- ・とやまの竹資源ネットワーク講習会の開催（2月26日 113名参加）
竹資源の利用を図る講習や穂先タケノコの調理実習・試食等

事業主体 県



「とやまの竹資源ネットワーク講習会」では、講習と併せ、穂先タケノコの調理実習と試食会を行い、「色々な料理が出来るとは知らなかった。おいしかった」、「早速、地域に戻って、料理教室を開催し広めたい。」との感想がありました。



「かぐや姫の里の集い」では、地域の方々と森林ボランティアや企業の森づくりの皆さんと一緒に、竹林管理技術、利用方法などを体験しました。

平成22年度 里山再生整備事業実施箇所一覧

全体計画及び進捗率

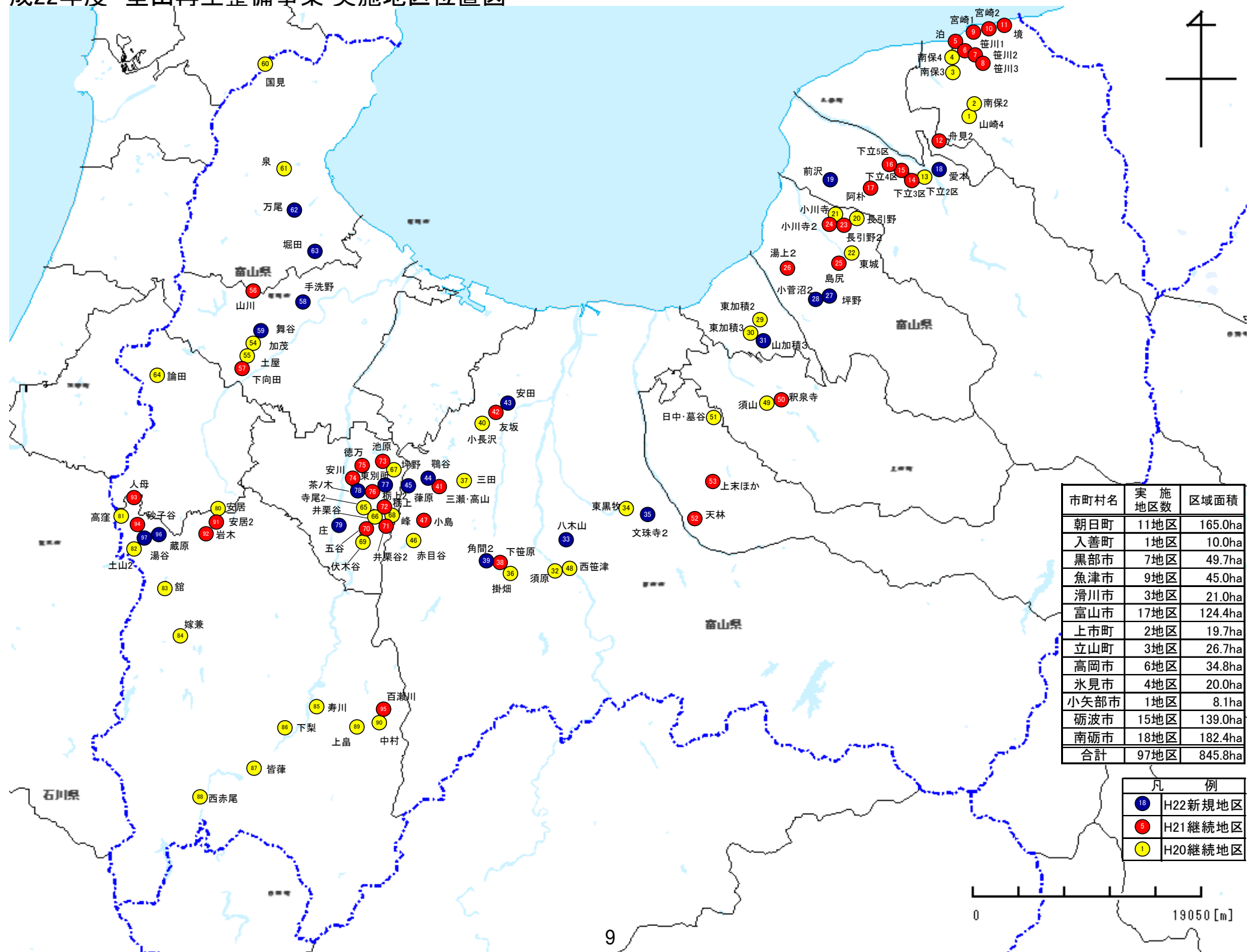
年度	全体計画 H28目標	H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (計画)
地区数		44 地区	84 地区	121 地区	97 地区	72 地区
新規地区		44 地区	40 地区	37 地区	20 地区	15 地区
2年目地区			44 地区	40 地区	37 地区	20 地区
3年目地区				44 地区	40 地区	37 地区
累計実施面積	2,000ha	366ha	739ha	1,073ha	1,218ha	1,298ha
累計実施地区数		44 地区	84 地区	121 地区	141 地区	156 地区
進捗率		18.3%	37.0%	53.7%	60.9%	64.9%

市町村名	No.	地区名	新規 継続 区分	事業 期間	計画 区域 面積	平成22年度事業実績									
						管理利用 計画策定	広葉樹林 等整備	竹林整備	竹林 林種転換	風雪被害 林等整備	県民参加 の森づくり	里山活用 促進事業	県民参加 の森づくり 人数	うち 住民以外	
朝日町	1	山崎4	継続	H20-22	15.0ha						○			109	
	2	南保2	継続	H20-22	15.0ha						○			180	
	3	南保3	継続	H20-22	15.0ha						○			191	
	4	南保4	継続	H20-22	15.0ha						○			128	
	5	泊1	継続	H21-23	15.0ha						○			81	
	6	笹川1	継続	H21-23	15.0ha						○			112	
	7	笹川2	継続	H21-23	15.0ha						○			93	
	8	笹川3	継続	H21-23	15.0ha						○			65	
	9	宮崎1	継続	H21-23	15.0ha						○			62	
	10	宮崎2	継続	H21-23	15.0ha						○			62	
	11	境	継続	H21-23	15.0ha						○			51	
小計		11地区			165.0ha						11地区		1,134		
入善町	12	舟見2	継続	H21-23	10.0ha						○			45	
小計		1地区			10.0ha						1地区		45		
黒部市	13	下立(2区)	継続	H20-22	13.1ha						○			40	
	14	下立(3区)	継続	H21-23	5.5ha		2.0ha				○			41	
	15	下立(4区)	継続	H21-23	3.7ha		1.0ha				○			20	
	16	下立(5区)	継続	H21-23	8.0ha		2.0ha				○			43	
	17	阿朴	継続	H21-23	3.2ha		1.0ha				○			52	52
	18	愛本	新規	H22-23	9.0ha	9.0ha	2.0ha	1.0ha			○			21	
	19	前沢	新規	H22-23	7.2ha	7.2ha	2.0ha				○			46	
小計		7地区			49.7ha	16.2ha	10.0ha	1.0ha			7地区		263	52	
魚津市	20	長引野	継続	H20-22	5.0ha						○			6	
	21	小川寺	継続	H20-22	5.0ha						○			4	
	22	東城	継続	H20-22	5.0ha						○			10	
	23	長引野2	継続	H21-23	5.0ha		2.3ha				○			6	
	24	小川寺2	継続	H21-23	5.0ha		3.0ha				○			6	
	25	島尻	継続	H21-23	5.0ha		1.0ha				○			6	
	26	湯上2	継続	H21-23	5.0ha		2.0ha				○			6	
	27	坪野	新規	H22-23	5.0ha	5.0ha	2.0ha				○			5	
28	小菅沼2	新規	H22-23	5.0ha	5.0ha	2.0ha				○			7		
小計		9地区			45.0ha	10.0ha	12.3ha				9地区		56		
滑川市	29	東加積2	継続	H20-22	4.0ha						○			15	
	30	東加積3	継続	H20-22	4.0ha						○			16	
	31	山加積3	新規	H22-23	13.0ha	13.0ha	0.4ha	0.1ha			○			2	
小計		3地区			21.0ha	13.0ha	0.4ha	0.1ha			3地区		33		
新川センター計		31地区			290.7ha	39.2ha	22.7ha	1.1ha			31地区		1,531	52	
富山市	32	須原	継続	H20-22	5.8ha						○			42	
	33	八木山	新規	H22-23	6.1ha	6.1ha	2.1ha	1.3ha			○			120	
	34	東黒牧	継続	H20-22	8.8ha		1.2ha	2.1ha			○			45	
	35	文珠寺2	新規	H22-23	4.1ha	4.1ha		1.0ha			○			45	23
	36	掛畑	継続	H20-22	14.2ha		3.3ha	0.3ha	0.2ha		○			54	
	37	三田	継続	H20-22	9.4ha		3.0ha		0.4ha		○			81	
	38	下笹原	継続	H21-23	8.0ha		1.4ha				○			45	
	39	角間2	新規	H22-23	7.5ha	7.5ha	2.0ha				○			40	
	40	小長沢	継続	H20-22	13.8ha		1.8ha	1.0ha		0.1ha	○			20	
	41	三瀬・高山	継続	H21-23	4.9ha		0.1ha	1.7ha	0.3ha	0.3ha	○			72	
	42	友坂	継続	H21-23	4.0ha		0.3ha	0.5ha			○			54	
	43	安田	新規	H22-23	6.2ha	6.2ha		1.8ha			○			64	
	44	鶺谷	新規	H22-23	8.7ha	8.7ha	1.0ha				○			59	
	45	葎原	新規	H22-23	9.2ha	9.2ha	1.0ha	1.0ha			○			3	
	46	赤目谷	継続	H20-22	4.1ha				1.6ha		○			12	
	47	小島	継続	H21-23	4.0ha			0.5ha	0.4ha		○			40	
48	西笹津	継続	H20-22	5.6ha						○			65		
小計		17地区			124.4ha	41.8ha	17.2ha	11.2ha	2.9ha	0.4ha	17地区		861	23	

平成22年度 里山再生整備事業実施箇所一覧

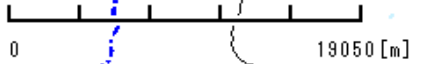
市町村名	No.	地区名	新規継続区分	事業期間	計画区域面積	平成22年度事業実績							県民参加の森づくり人数	うち住民以外
						管理利用計画策定	広葉樹林等整備	竹林整備	竹林林種転換	風雪被害林等整備	県民参加の森づくり	里山活用促進事業		
上市町	49	須山	継続	H20-22	14.7ha			0.6ha			○	炭窯	24	
	50	釈泉寺	継続	H21-23	5.0ha						○		10	
小計		2地区			19.7ha			0.6ha			2地区	1地区	34	
立山町	51	日中・墓谷	継続	H20-22	4.4ha						○		31	
	52	天林	継続	H21-23	9.5ha		2.5ha	0.6ha			○		6	
	53	上末ほか	継続	H21-23	12.8ha		3.0ha	0.3ha			○		6	
小計		3地区			26.7ha		5.5ha	0.9ha			3地区		43	
富山センター計		22地区			170.8ha	41.8ha	22.7ha	12.7ha		0.4ha	22地区	1地区	938	23
高岡市	54	福岡町加茂	継続	H20-22	4.5ha						○		52	
	55	福岡町土屋	継続	H20-22	4.6ha						○		40	
	56	山川	継続	H21-23	5.7ha						○		40	
	57	福岡町下向田	継続	H21-23	7.0ha		2.3ha	0.2ha	0.2ha		○		41	1
	58	手洗野	新規	H22-23	9.0ha	9.0ha	3.3ha	1.5ha						
	59	福岡町舞谷	新規	H22-23	4.0ha	4.0ha	3.0ha	1.0ha						
小計		6地区			34.8ha	13.0ha	8.6ha	2.7ha	6.5ha		4地区		173	1
氷見市	60	国見	継続	H20-22	5.0ha						○		17	
	61	泉	継続	H20-22	4.6ha				0.9ha		○		35	
	62	万尾	新規	H22-23	4.6ha	4.6ha	1.2ha	3.2ha						
	63	堀田	新規	H22-23	5.8ha	5.8ha		3.6ha						
小計		4地区			20.0ha	10.4ha	1.2ha	6.8ha	0.9ha		2地区		52	
小矢部市	64	論田	継続	H20-22	8.1ha						○		24	
小計		1地区			8.1ha						1地区		24	
高岡センター計		11地区			62.9ha	23.4ha	9.8ha	9.3ha			7地区		249	1
砺波市	65	寺尾2	継続	H20-22	10.0ha						○		11	5
	66	井栗谷	継続	H20-22	13.0ha						○		16	4
	67	坪野	継続	H20-22	8.0ha						○		28	
	68	峰	継続	H20-22	8.0ha						○		13	
	69	伏木谷	継続	H20-22	15.0ha						○		16	
	70	五谷	継続	H21-23	10.0ha		1.0ha			0.2ha	○		21	
	71	井栗谷2	継続	H21-23	8.0ha			1.3ha			○		17	1
	72	柄上	継続	H21-23	8.0ha			1.2ha			○		30	2
	73	池原	継続	H21-23	8.0ha			1.4ha			○		43	
	74	安川	継続	H21-23	6.0ha						○		54	2
	75	徳万	継続	H21-23	7.0ha		1.0ha				○		35	7
	76	柄上2	継続	H21-23	10.0ha			1.7ha			○		24	
	77	東別所	新規	H22-23	10.0ha	10.0ha		1.2ha						
78	茶の木	新規	H22-23	8.0ha	8.0ha	0.5ha	1.0ha							
79	庄川町庄	新規	H22-23	10.0ha	10.0ha	1.0ha	1.0ha							
小計		15地区			139.0ha	28.0ha	3.5ha	8.8ha		0.2ha	12地区		308	21
南砺市	80	安居	継続	H20-22	8.9ha				1.0ha		○		12	
	81	高窪	継続	H20-22	13.5ha				2.0ha		○		99	
	82	土山2	継続	H20-22	8.5ha						○		130	
	83	館	継続	H20-22	8.4ha						○		35	
	84	嫁兼	継続	H20-22	9.3ha						○		40	
	85	寿川	継続	H20-22	9.1ha						○		25	
	86	下梨	継続	H20-22	8.8ha						○		27	
	87	皆葎	継続	H20-22	13.0ha						○		30	
	88	西赤尾町	継続	H20-22	14.1ha						○		32	
	89	上畠	継続	H20-22	10.2ha						○		39	
	90	中村	継続	H20-22	14.3ha						○		9	
	91	安居2	継続	H21-23	8.6ha			2.4ha			○		12	
	92	岩木	継続	H21-23	8.0ha			2.2ha	0.4ha		○		17	
	93	人母	継続	H21-23	11.9ha		4.7ha		1.3ha		○		23	
	94	砂子谷	継続	H21-23	13.3ha		0.7ha	1.0ha	2.0ha		○		38	
95	百瀬川	継続	H21-23	9.6ha		3.0ha				○		8		
96	蔵原	新規	H22-23	7.3ha	7.3ha	1.8ha	3.2ha							
97	湯谷	新規	H22-23	5.6ha	5.6ha	0.7ha	2.0ha							
小計		18地区			182.4ha	12.9ha	10.9ha	10.8ha	6.7ha		16地区		576	
砺波センター計		33地区			321.4ha	40.9ha	14.4ha	18.8ha		0.2ha	28地区		884	21
総計		97地区			845.8ha	145.3ha	69.6ha	42.9ha	17.0ha	0.6ha	88地区	1地区	3,602	97

平成22年度 里山再生整備事業 実施地区位置図



市町村名	実施地区数	区域面積
朝日町	11地区	165.0ha
入善町	1地区	10.0ha
黒部市	7地区	49.7ha
魚津市	9地区	45.0ha
滑川市	3地区	21.0ha
富山市	17地区	124.4ha
上市町	2地区	19.7ha
立山町	3地区	26.7ha
高岡市	6地区	34.8ha
氷見市	4地区	20.0ha
小矢部市	1地区	8.1ha
砺波市	15地区	139.0ha
南砺市	18地区	182.4ha
合計	97地区	845.8ha

凡 例	
●	H22新規地区
●	H21継続地区
●	H20継続地区



一水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進一
Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成22年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理を行うとともに、広葉樹を植栽しました。

【平成22年度実績】

整備面積	・風雪被害林整理	38.7ha
	・過密人工林整理	173.6ha
事業主体	県	

実施例：南砺市砂子谷 地内（過密人工林整理）



手入れ不足により幹折れが発生したスギ人工林



枯死した木や生長の悪い木を伐採・整理



広葉樹が侵入・生長し、混交林化しつつある

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、森づくりに必要な苗木を育て、風雪被害林整理跡地に植栽するとともに、森林ボランティア団体等に配付し、森づくり活動に使用しています。

9月18日開催の「とやまの森づくりボランティアの集い」（立山町野沢地内）では、森林ボランティア団体への苗木の贈呈式も実施しました。

【平成22年度実績】

育成本数	コナラ、クヌギ、クリなど 30,000本
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



県産広葉樹苗贈呈式
 「とやまの森づくりボランティアの集い」



みどりの森再生事業地での植栽だけでなく、森林ボランティアや企業による森づくり活動、里山事業実施地区などにおいても県産広葉樹苗を活用



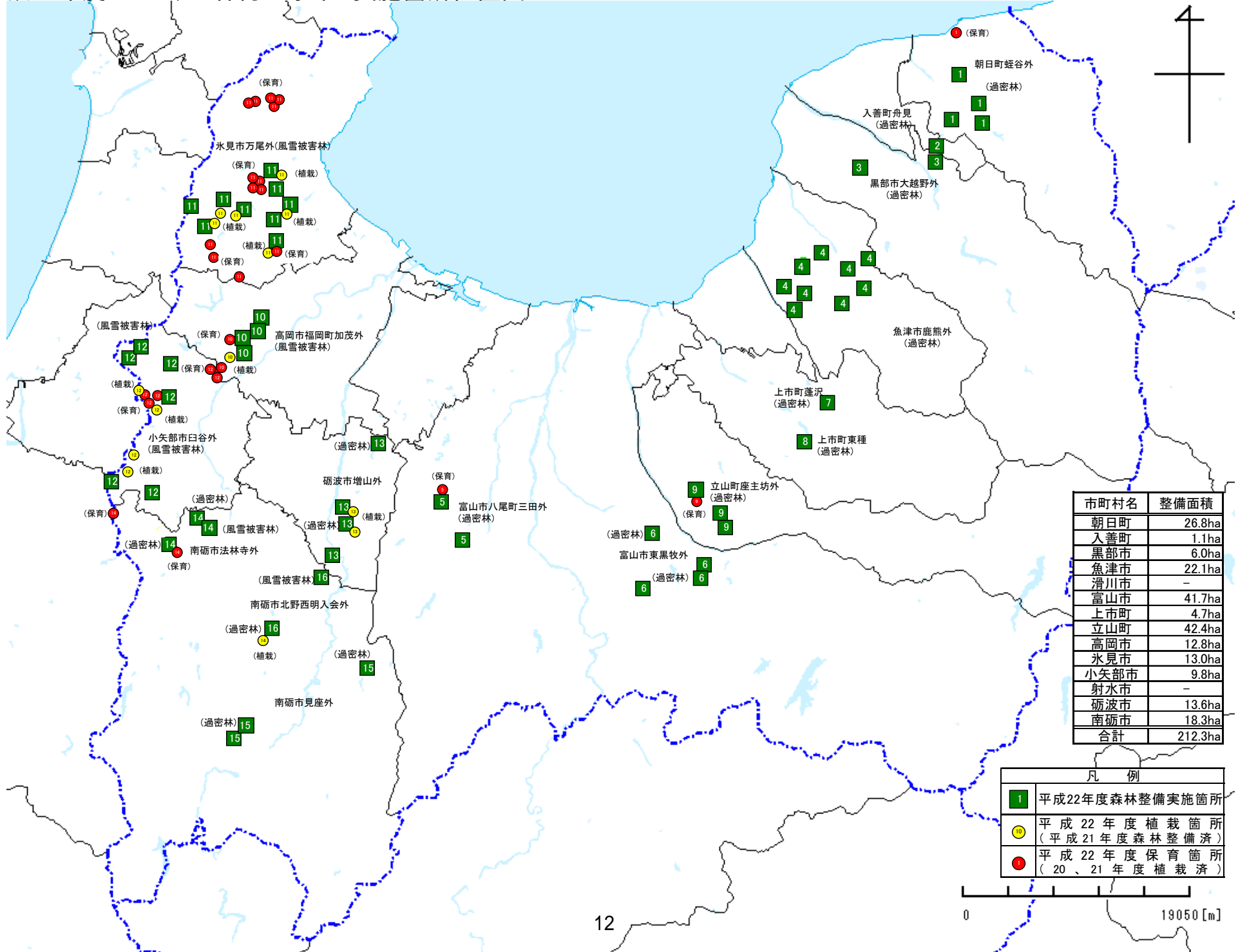
平成22年度 みどりの森再生事業実施箇所一覧

全体計画及び進捗率

		全体計画 H28目標	H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (計画)
実施 面積	風雪被害林整理	250ha	42ha	35ha	31ha	39ha	44ha
	過密人工林整理	1750ha	19ha	39ha	102ha	174ha	176ha
	合計	2,000ha	61ha	74ha	132ha	212ha	220ha
累計実施面積			61ha	135ha	268ha	480ha	700ha
進捗率			3.1%	6.8%	13.4%	24.0%	35.0%

番号	市町村	箇所名	平成22年度実績				
			事業内容			植栽面積	保育面積
			整理 面積	風雪被害林 整理	過密林整理		
22-1	朝日町	蛭谷外	26.8ha		26.8ha		0.1ha
22-2	入善町	舟見	1.1ha		1.1ha		
22-3	黒部市	大越野外	6.0ha		6.0ha		
22-4	魚津市	鹿熊外	22.1ha		22.1ha		
22-5	富山市	八尾町三田外	3.8ha	0.4ha	3.4ha		0.2ha
22-6	富山市	東黒牧外	37.9ha		37.9ha		
	富山市計		41.7ha	0.4ha	41.3ha		0.2ha
22-7	上市町	東種	2.0ha		2.0ha		
22-8	上市町	蓬沢	2.7ha		2.7ha		
	上市町計		4.7ha		4.7ha		
22-9	立山町	座主坊外	42.4ha		42.4ha		0.1ha
22-10	高岡市	福岡町加茂外	12.8ha	12.8ha		0.1ha	0.6ha
22-11	氷見市	万尾外	13.0ha	13.0ha		0.3ha	1.1ha
22-12	小矢部市	臼谷外	9.8ha	9.8ha		0.4ha	0.4ha
22-13	砺波市	増山外	13.6ha		13.6ha	0.2ha	
22-14	南砺市	法林寺外	8.7ha	1.2ha	7.5ha	0.1ha	0.8ha
22-15	南砺市	見座外	6.9ha		6.9ha		
22-16	南砺市	北野西明入会外	2.7ha	1.5ha	1.2ha		
	南砺市計		18.3ha	2.7ha	15.6ha	0.1ha	0.8ha
	総計		212.3ha	38.7ha	173.6ha	1.0ha	3.4ha

平成22年度 みどりの森再生事業 実施箇所位置図



Ⅳとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成22年度事業の実績

(1) 登録団体数等（平成23年3月末現在）

一般登録 : 75団体 3,933人
企業登録 : 43企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費（設立・定着支援）や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のため「森づくり塾」を開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



県民参加の森づくりの啓発やボランティア交流を深める「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。

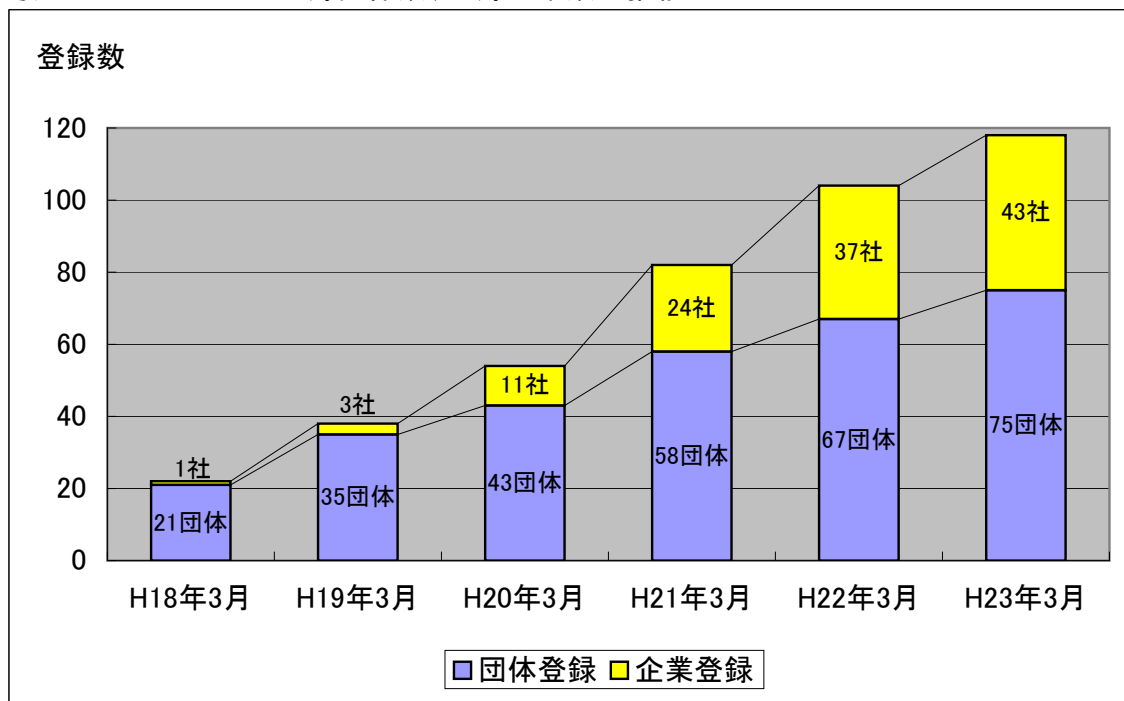


森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

平成22年度 県民参加による森づくり参加延べ人数

類別	活動回数	延べ参加人数	H21実績	H20実績
サポートセンター登録団体・個人				
森林整備型	278回	1,546人	1,185人	1,216人
体験参加型	685回	5,971人	5,698人	4,895人
小計	963回	7,517人	6,883人	6,111人
企業の森づくり	118回	1,897人	2,903人	2,707人
サポートセンター主催活動	3回	517人	523人	613人
計	1,084回	9,931人	10,309人	9,431人
里山再生整備事業（地域外の参加者数）		331人	690人	602人
総計		10,262人	10,999人	10,033人

（参考） サポートセンター登録団体数、登録企業数の推移



サポートセンター登録団体等一覧表

I サポートセンター登録団体・個人

登録年月	団体名称	事務局	会員数
1	H18.03 あそそ自然学校	中新川郡上市町浅生15	35
2	H18.03 草刈り十字軍運動本部	富山市安養寺110	46
3	H18.03 雑木囃子	砺波市東別所5303	35
4	H18.03 財団法人 オイスカ富山県支部	富山市下大久保2412-9	20
5	H18.03 NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会	南砺市高儀387-4 新樹造園内	32
6	H18.03 富山県フォレストリーダー協会	射水市射水町2-1-2	107
7	H18.03 片貝川の流れを戻す会	魚津市道坂103-4 阿波ノ内	50
8	H18.03 NPO法人 グリーン・リズムとやま	富山市新保44-1	52
9	H18.03 森づくりボランティア「天林森の会」	富山市大江千新町38	47
10	H18.03 とやま森林サポーターの会	富山市掛尾町 341番地	42
11	H18.03 とやま森林サポーター二期会	砺波市春日町1-10	29
12	H18.03 とやま森林サポーター三期会	富山市大井153	29
13	H18.03 とやま森林サポーター四期会		37
14	H18.03 NPO法人 とやまの木で家をつくる会	富山市五福1-1-531	114
15	H18.03 どんぐりころりん会	中新川郡立山町五百石 165	45
16	H18.03 氷見城発伸の会	氷見市飯久保 125	30
17	H18.04 環境教育ネットワークとやまエコひろば	高岡市中川園町5-14	20
18	H18.04 とやま森林づくりボランティアの会	富山市朝葉町1丁目67-5	62
19	H18.04 とやま森林インストラクター会	砺波市東別所5303番地	22
20	H18.04 地域福祉協会	富山市安住町5-21 県総合福祉会館内	13
21	H18.04 グリーンサポート 十草草野の会	高岡市白金町7-15	30
22	H18.05 社会福祉法人 めひの野園	富山市西金屋6694-4	9
23	H18.05 木と暮らしネットワーク	富山市婦中町新屋507	30
24	H18.05 きんたろう倶楽部	富山市古沢254 富山市ファミリーパーク内	784
25	H18.05 市民いきものメイト	富山市古沢254 富山市ファミリーパーク内	242
26	H18.06 呉羽丘陵 “森の楽校”	富山市小杉120	40
27	H18.06 とやま森林と人ネットワーク	氷見市惣領296番地	50
28	H18.08 小矢部市立 蟹谷(かんだ)中学校	小矢部市藤森60番地	103
29	H18.08 社会福祉法人 「溪明園」	小矢部市論田8番地	10
30	H18.09 八尾ふるさと発見塾	富山市八尾町角間250-1	8
31	H18.10 伏木ふれあいの杜 管理協力会	高岡市伏木一宮2丁目3-29	210
32	H18.10 上市町立 上市中学校 生徒会	中新川郡上市町稗田1番地	80
33	H18.11 夢創塾(むそうじゅく)	下新川郡朝日町蛭谷469	10
34	H19.02 森のむささび	高岡市福岡町五位1207	35
35	H19.04 グループ樹の実	黒部市生地神区207-3	35
36	H19.04 NPO法人 森林総合支援センター	富山市婦中町鶴(みさご)谷7	30
37	H19.05 梅檀野さくらの会	砺波市芹谷1036	34
38	H19.05 石動津幡里山を守る会	小矢部市泉町3-9	8
39	H19.05 Bamboo saves the earth	富山市婦中町希望ヶ丘654	20
40	H19.08 富山県林友クラブ	富山市舟橋北町4-19 富山県森林水産会館内3F	150
41	H20.02 砺波里山再生の会	砺波市福岡445	10
42	H20.02 阿古屋野森づくりクラブ	滑川市清水町7-17	34
43	H20.04 瞳々の会(とうとうのかい)	南砺市西赤尾町183	14
44	H20.05 富山県立 新生園	高岡市麻生谷3835	50
45	H20.06 NPO法人 黒河竹炭友の会	射水市東太閤山2-77	18
46	H20.07 エコロの森ネイチャークラブ	富山市文京町3-4-8	10
47	H20.09 里山と共に	高岡市福岡町三日市195	5
48	H20.09 クリキンディの森づくりの会	魚津市坪野574	38
49	H20.10 悠遊会(ゆうゆうかい)	高岡市頭川2993	30
50	H20.10 上田・森と仲間づくり・炭竹会	氷見市上田1557	20
51	H20.10 しんゆう倶楽部	富山市割山9-1 割山森林公園「天湖森」内	41
52	H20.11 アートNPOヒミング	氷見市北大町7-6	40
53	H21.01 ぶなっこ会	射水市内	20
54	H21.01 山平の森を育てる会	富山市稲代11-205	15
55	H21.02 ふるさと再生塾	富山市寺町けや木台109	7
56	H21.02 ビーフレンド山と森の共同組合		12
57	H21.03 閑乗寺の会	南砺市井波962-17	12
58	H21.03 富山県がうん天蚕の会	富山市若竹町2-81	85
59	H21.04 富山国際大学環境サークル	富山市東黒牧65-1 富山国際大学	20
60	H21.05 土屋背戸山を守る会	高岡市福岡町土屋103	143
61	H21.05 樵舎(たきぎのかい)	南砺市利賀村上百瀬537	12
62	H21.06 小菅沼・ヤギの杜	魚津市鹿熊6	12
63	H21.07 泉里山を守る会	氷見市泉2159	37

2011/3/31

登録年月	団体名称	事務局	会員数
64	H21.10 氷見 竹楽座	氷見市数田119-3	5
65	H22.02 下向田里山を守る会	高岡市福岡町下向田187	43
66	H22.03 小長沢大山の森を守る会	富山市婦中町436-3	60
67	H22.03 三高花木の会	富山市婦中町三瀬18	30
68	H22.05 清水場あじさい園の会	下新川郡朝日町山崎1841	35
69	H22.06 富山森のこども園		70
70	H22.07 なめりかわ森づくりクラブ	滑川市中川原359	10
71	H22.07 里山活性化協議会	高岡市国吉1324-1 里山交流センター	30
72	H22.07 竹取倶楽部	富山市婦中町安田189	50
73	H22.08 NPO法人 こば	富山市土167	30
74	H22.10 かぐや姫	富山市婦中町新町230	20
75	H23.01 縄文文化ふれあい塾	小矢部市矢水町495-2	5
小計			3,858
個人登録者			75
計			3,933

II サポートセンター登録企業

登録年月	企業名称	事務局	社員(会員)数
1	H18.03 北陸加コノググループ「うるおいの森づくり」有志の会	高岡市内島3550番地	350
2	H18.05 イオン株式会社 ジャスコ高岡南店	高岡市下伏間江383番地	400
3	H18.10 (株)国際電気テクノロジーサービス 富山事業所	富山市八尾町保内2-9-2	139
4	H19.05 株式会社トヨックス	黒部市前沢4371	261
5	H19.05 北星ゴム工業株式会社	黒部市岡362-14	470
6	H19.05 ダイヤテックス株式会社	黒部市沓掛2000	270
7	H19.07 川端鐵工株式会社	黒部市生地芦区247	80
8	H19.09 YKKグループ 黒部事業所	黒部市吉田200	6,400
9	H19.11 ウッドリンク株式会社 フルスタクラブ	射水市寺塚原415	150
10	H19.12 藤堂工業株式会社	滑川市上島838	170
11	H20.01 株式会社グループ “安心の森づくり” クラブ	射水市西高木1184番地	230
12	H20.04 日本労働組合総連合会富山県連合会(連合富山)	富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま7F	64,000
13	H20.04 クラシエ製菓株式会社 高岡工場	高岡市鐘紡町3-1	180
14	H20.05 北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会とやま	富山市牛島町13-15 北陸電力(株)富山支店	20
15	H20.05 北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会うおづ	魚津市新金屋1-12-12 北陸電力(株)魚津支店	30
16	H20.06 岸田木材株式会社 森林パートナー事業部	氷見市十二町万尾前247-1	27
17	H20.06 国際電気テクノサービス株式会社	富山市八尾町保内2-1 (株)日立国際電気富山工場内	70
18	H20.07 日本海ガス株式会社	富山市城北町2-36	350
19	H20.09 株式会社富山村田製作所	富山市上野345	1,300
20	H20.09 株式会社高松メッキ	富山市八尾町保内2-10	220
21	H20.11 TOTO株式会社 北陸支社	金沢市鞍月4-110	20
22	H20.11 大和ハウス工業株式会社 富山支店	富山市天正寺68番地	126
23	H21.02 (株)日立国際電気	富山市八尾町保内2-1	506
24	H21.03 ヤマサン食品工業株式会社	射水市黒河3197	156
25	H21.03 ノエビア富山販売株式会社	富山市経堂1-102-2	50
26	H21.04 日の出屋製菓産業株式会社	南砺市田中411	364
27	H21.04 リーディング株式会社 富山S&S営業部	富山市堀川町313	50
28	H21.05 中越パルプ工業株式会社 高岡工場	高岡市米島282	448
29	H21.05 中越ロジスティクス株式会社	高岡市米島282	339
30	H21.05 中越緑化株式会社	高岡市材木町1-6	32
31	H21.06 財団法人 ニッセイ緑の財団	東京都港区虎ノ門1-21-17 5F	200
32	H21.07 大洋住宅株式会社	富山市大町225-1	24
33	H21.08 富山県生活協同組合	富山市金屋555	200
34	H21.08 中越テクノ株式会社	高岡市米島282	36
35	H21.10 矢崎総業株式会社 富山支店	富山市五福新町5723	15
36	H21.10 北越電装株式会社	富山県中新川郡上市町砂林開181	215
37	H21.10 ドコモ北陸グループ	石川県金沢市西都1-5	960
38	H22.03 大高建設株式会社	黒部市宇奈月温泉633-1	57
39	H22.06 石友ホーム株式会社	高岡市下牧野36-2	160
40	H22.06 コーセル株式会社	富山市上赤江町1-6-43	400
41	H22.06 株式会社アーキジオ	高岡市西藤平蔵581	60
42	H22.09 関西電力 北陸支社 森づくりサークル	富山市東田地方町1-2-13	20
43	H22.09 富士ゼロックス株式会社(株)富山事業所	滑川市1277-6	198
44	H22.12 エコウッド富山 株式会社	小矢部市内御堂157	15

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

〇趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

〇平成22年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムで紹介しています。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

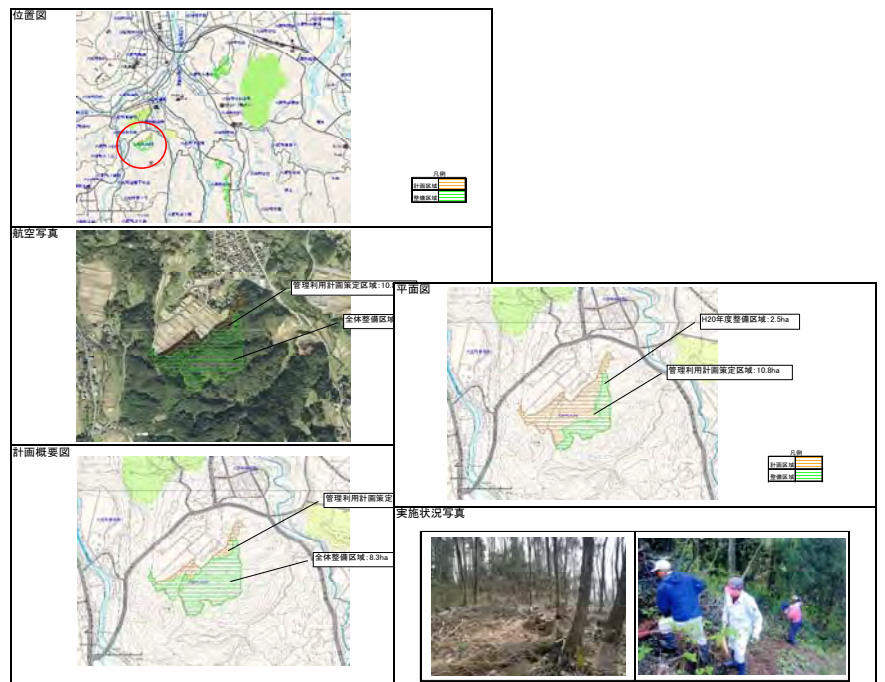
(平成23年3月31日現在アクセス数 29,230 件)

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》



特記事項
(整備の方針)
・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整備伐を実施する。
(事業の実績)
・森林の整備後、地域住民とボランティアの協働による森づくり活動が実施され、交流が図られた。
また、今春のカタクリの開花面積が倍化し、市内外各地から当地を訪れる人々が多数見受けられた。

水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

平成 22 年度 とやまの森づくり総合情報システム事業について

○事業実績

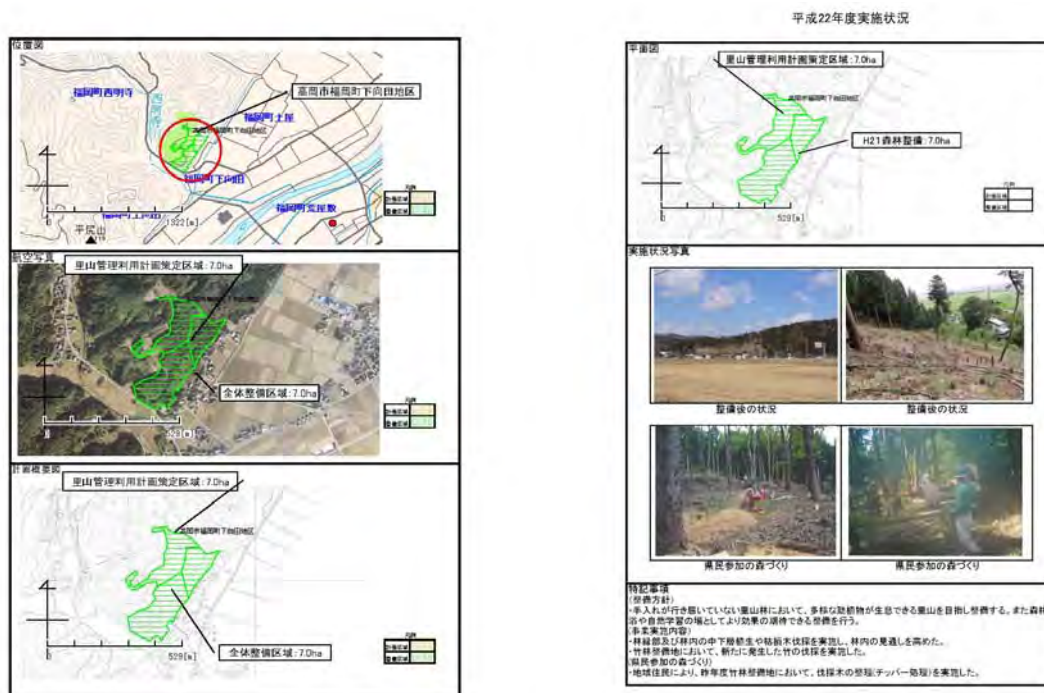
1 森林 GIS システムの運用・活用

(1) 水と緑の森づくり事業地情報図の作成

水と緑の森づくり事業の結果及びその効果を、わかりやすく情報提供するための情報図を森林GISシステムを活用し作成。この情報図をとやまの森づくりホームページで公開。

(H22年度 里山再生整備事業：97地区、みどりの森再生事業：16地区)

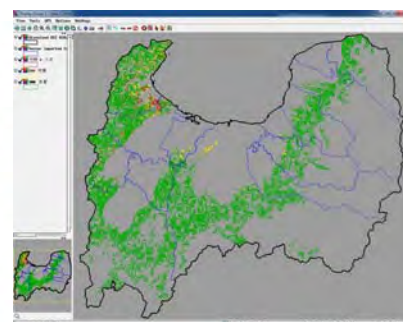
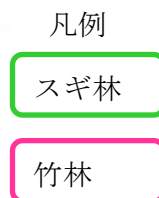
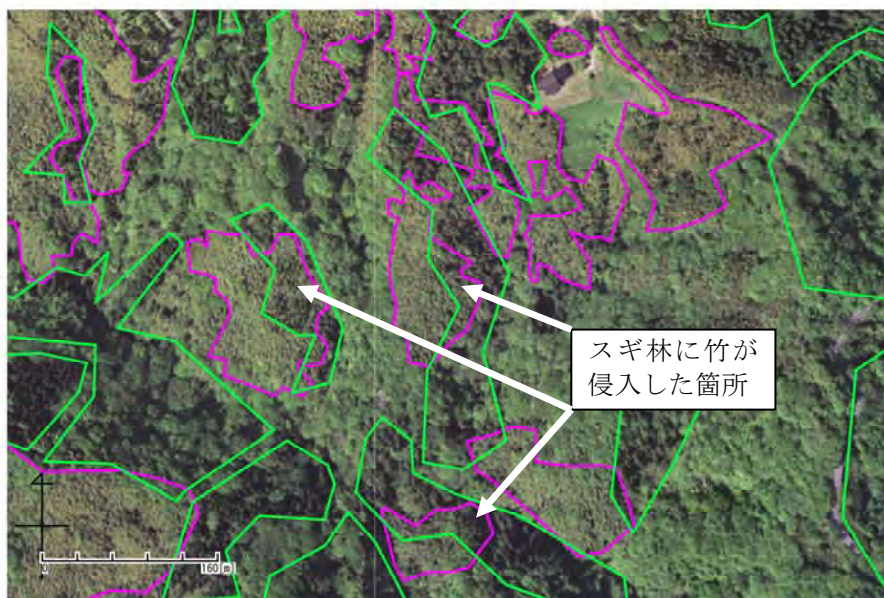
(参考) 里山再生整備事業地の地区別実施調書



(2) 計画策定に活用

スギ・竹林の位置情報により、スギ人工林に竹林が侵入している箇所を把握し、森づくりプラン後期計画に向けた基礎資料として活用。

(参考) スギ林・竹林の分布情報表示例



2 とやまの森づくりホームページの公開

森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業に関する情報を広く県民にわかりやすく紹介。

とやまの森づくりホームページ



公開している「水と緑の森づくり事業」の情報

「かぐや姫の里の集い」の実施

1 概要

里山再生整備事業実施地の竹林を地域の方々に適切に管理いただくためには、継続した竹林の利活用が重要となっています。

このため、県では「かぐや姫の里の集い」を以下のおり開催し、「里山再生整備事業」など竹林の管理に取り組んでおられる地域の方々と森林ボランティアや企業の森づくりの皆さんに、竹林管理技術、利用方法などを体験していただきました。

参加者からは、「地域にとってボランティアの方々の活動は心強い」や「伐採した竹材が利用できるのは良いことだ」と言った感想が聞かれました。

2 日時・場所

- (1) 日時 平成22年10月30日(土) 10:00~12:30
- (2) 場所 砺波市頼成芹谷地内(県民公園頼成の森周辺の竹林)

- 3 参加者数 158名 里山再生整備事業実施地区住民等 (46名)
とやまの森づくりネットメンバー登録団体会員等 (90名)
県・市・森林組合職員等 (22名)

4 実施内容等

- (1) 技術講習 (10:00~10:35)
 - ・親竹の残し方、竹の伐採方法、玉切り方法の指導
- (2) 竹林整備体験(10:30~12:00)
 - ①不要竹の除去、竹材の玉切り
 - ②かぐやの竹舟号への横込み、竹灯籠づくり

5 活動状況



技術講習



竹材の玉切り方法



かぐやの竹舟号への横込み



竹灯籠づくり

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成22年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成22年度実績】

開催回数 88回

内訳 (出前講座 56回 (参加人数 2,850人))
(森林教室 32回 (参加人数 3,225人))

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成22年度実績】

スキルアップ研修の開催 1回 (平成23年3月5日)

「森の寺子屋」実施状況



「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



広葉樹の小枝を加工して製作する小枝のボールペンづくりの指導をしています。



きのこの植菌を指導しています。



森林内を散策しながら、樹木の名前や働きを解説しています。

平成22年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日		開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容		
	年	月		日	区分	学年等	人数	区分	具体的内容
1	22	4	10	大日町児童クラブ	児童	小学校1～6年生	70	出前講座 森林教室	私たちの生活と森林 竹笛、木の名札作りの指導
2	22	4	11	高岡市野村第四公民館	一般		97	出前講座 森林教室	木材利用の意義について解説 しいたけ植菌の指導
3	22	4	13	南砺市立福光東部小学校	児童	小学校5年生	79	出前講座 森林教室	私たちの生活と森林 しいたけ植菌の指導
4	22	4	18	はぎうらおはなしの会	一般		120	森林教室	竹笛作りの指導
5	22	5	4	(財)花と緑の銀行	一般		70	森林教室	クイズを通しての森林解説、しいたけ植菌の指導
6	22	5	18	黒部ロータリークラブ	一般		16	出前講座	黒部市内の里山の現状とボランティア活動
7	22	5	27	富山市立東部小学校	児童	小学校5年生	69	出前講座 森林教室	森と働きとわたしたち フラワーポット製作、同名札製作
8	22	5	28	富山県	一般	花と緑の少年団	150	森林教室	クイズを通しての森林解説
9	22	6	8	黒部ロータリークラブ	一般		14	森林教室	花炭づくり
10	22	6	11	滑川市立北加積小学校	児童	小学校4年生	31	出前講座 森林教室	地球温暖化と森林 バードコールの作成指導
11	22	6	14	ひばり児童センター	児童	小学校1～3年生	30	森林教室	木工クラフト オリジナルコースターづくり
12	22	6	19	滑川東地区健康づくり推進委員会	一般		30	森林教室	樹木の解説
13	22	6	23	砺波花とみどりの少年団 (庄東小学校)	児童	小学校6年生	37	出前講座 森林教室	とやまの森、森林のはたらき 樹木の解説、水性植物園でクイズ
14	22	7	1	高岡市立中田小学校	児童	小学校5年生	63	出前講座 森林教室	森林のはたらきと地球環境の学習 小枝のボールペンの作成指導
15	22	7	1	富山市立音川小学校	児童	小学校6年生	10	出前講座	森林と環境の関係、現在の森林状況
16	22	7	5	上市町立南加積小学校	児童	小学校1～6年生	186	出前講座 森林教室	森林を育てる 木のペンダント、名札、My箸づくり、笛
17	22	7	5	氷見市立十三中学校	生徒	中学2年生	6	出前講座	飯久保きずなの森整備
18	22	7	6	氷見市立十三中学校	生徒	中学2年生	6	出前講座	飯久保きずなの森整備
19	22	7	7	富山市立堀川小学校	児童	小学校5年生	115	出前講座 森林教室	森林とわたしたち 小枝のキーストラップ
20	22	7	10	富山市立山室小学校PTA愛育会	児童	小学校1～6年生	44	出前講座 森林教室	山や森の話 木工教室(竹細工作り)
21	22	7	25	中川原児童クラブ	児童	小学校1～6年生	35	出前講座	森のはたらき
22	22	7	26	富山県農業協同組合中央会	児童	小学校5～6年生	22	出前講座 森林教室	とやまの森林の姿、森林の働き 木材利用(小枝のボールペン)
23	22	7	27	氷見市立湖南小学校	児童	小学校5～6年生	71	森林教室	竹を使った楽器づくり
24	22	7	28	入善町立入善小学校	児童	小学校6年生	73	出前講座 森林教室	森の働きについてのお話 My箸づくり
25	22	7	28				126		
26	22	7	29	(社)とやま緑化推進機構	児童	花と緑の少年団	244	森林教室	森の不思議〇×クイズ
27	22	7	30				118		木工教室
28	22	8	7	平花とみどりの少年団育成会	児童	小学校4～6年生	25	森林教室	木工教室
29	22	8	8	富山市立北部児童館	児童		20	森林教室	リースづくり
30	22	8	18	砺波地区小教研 生活科部会	一般	小学1～2年生 担当の教職員	25	出前講座 森林教室	低学年の森林体験の指導 森林観察
31	22	8	21	新庄北小学校 つばさ子ども会	児童	小学校1～2年生	54	出前講座 森林教室	樹木について 木工クラフト
32	22	8	21	連合富山	一般		49	出前講座 森林教室	森林の働き 森林観察、木工教室

平成22年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区 分	学年等	人数	区 分	具体的内容
33	22 / 8 / 22	富山市南森公民館	児童		28	森林教室	小枝のボールペンと名札づくり
34	22 / 8 / 24	(社)とやま緑化推進機構	児童	花と緑の少年団	136	森林教室	森林体験ゲームの指導
35	22 / 8 / 27	魚津市立かもめ児童センター	児童	小学校1～6年生	32	森林教室	木工教室
36	22 / 8 / 27	富山神通ライオンズクラブ	一般		200	出前講座	木工クラフト
37	22 / 9 / 14	射水市立小杉小学校	児童	小学4～6年生	30	森林教室	My箸づくり
38	22 / 9 / 17	砺波花とみどりの少年団 (庄東小学校)	児童	小学校3年生	35	森林教室	公園内道路を散策
39	22 / 9 / 18	新港の森管理事務所	児童		40	森林教室	木工クラフト、竹笛づくり
40	22 / 9 / 26	滑川市役所生活環境課	一般		50	森林教室	My箸づくり
41	22 / 9 / 29	黒部市立田家小学校	児童	小学校4年生	40	出前講座 森林教室	森林現況、木材利用 バードコールの製作
42	22 / 10 / 2	魚津市松倉公民館	児童	小学校1～6年生	18	出前講座 森林教室	間伐材の有効利用 鍋敷きや花瓶敷きを作成する
43	22 / 10 / 7	富山市立倉垣小学校	児童	小学校6年生	31	出前講座 森林教室	里山について 小枝のボールペン
44	22 / 10 / 9	農林水産総合技術センター	一般		600	森林教室	鍋敷きや小枝の笛づくり
45	22 / 10 / 9	北陸コカ・コーラ	一般		45	出前講座 森林教室	国産割り箸について My箸づくり
46	22 / 10 / 13	藤ノ木校下地域児童健全 育成運営協議会	児童	小学校1年生	50	出前講座 森林教室	森林の働き 名札づくり
47	22 / 10 / 16	富士ゼロックス(株)富山事 務所	一般		31	出前講座 森林教室	森林の現状や森林保護活動の重要性 森林整備
48	22 / 10 / 23	連合富山	一般		40	出前講座	森の役割や森づくりの大切さ
49	22 / 10 / 25	つばめ児童センター	児童		29	森林教室	木工クラフト
50	22 / 10 / 27	さくらサロン石坂	一般		19	出前講座 森林教室	森の働き 小枝のボールペン
51	22 / 10 / 27	砺波花とみどりの少年団(庄東小学校)	児童	小学6年生	35	森林教室	植栽の指導
52	22 / 10 / 30	水土里探訪ウォーク運営委員会	一般		150	出前講座	森のはたらき
53	22 / 10 / 30	富山県	一般		110	森林教室	小枝のボールペン
54	22 / 10 / 31	富山県	一般		110	森林教室	小枝のボールペン
55	22 / 11 / 6	きんたろう倶楽部	一般		40	出前講座 森林教室	富山の森の話 竹の楽器作り
56	22 / 11 / 9	滑川市立寺家小学校	児童	小学4年生	42	出前講座 森林教室	森林の働き、日本及び富山県の現状 シイタケ植菌
57	22 / 11 / 10	立山町西部児童館	児童	小学1～3年生	22	出前講座 森林教室	樹木教室 お面や壁飾り
58	22 / 11 / 11	砺波市立庄南小学校	児童	小学6年生	10	出前講座 森林教室	森の働きの説明 樹木の名札づくり
59	22 / 11 / 16	砺波花とみどりの少年団(庄東小学校)	児童	小学4、6年生	62	森林教室	巣箱外し、シイタケ植菌
60	22 / 11 / 17	富山市立老田小学校	児童	小学5年生	36	出前講座 森林教室	とやま森林の姿 木工クラフト(小枝ボールペン)
61	22 / 11 / 18	魚津市立上野方小学校	児童	小学4年生	30	森林教室	シイタケ植菌
62	22 / 11 / 20	高岡市大工中町自治会	一般		30	出前講座 森林教室	富山の森林の様子と役割 シイタケ植菌
63	22 / 11 / 24	高岡市立木津小学校	児童	小学5年生	54	出前講座 森林教室	樹木の話 小枝のボールペン
64	22 / 11 / 25	砺波花とみどりの少年団 (庄東小学校)	児童	小学5年生	41	森林教室	巣箱製作の指導
65	22 / 11 / 28	砺波市立庄南小学校	児童	小学6年生	68	出前講座 森林教室	森の働き 竹馬の製作と学校内樹木の名札つけ

平成22年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区 分	学年等	人数	区 分	具体的内容
66	22 / 11 / 29	黒部市立田家小学校	児童	小学1年生	38	出前講座 森林教室	里山林の現況と役割 どんぐりの植付け
67	22 / 11 / 30	黒部市立田家小学校	児童	小学3年生	10	出前講座 森林教室	樹木の種類 コナラの苗木植栽、しいたけ植菌
68	22 / 11 / 30	射水市立歌の森小学校	児童	小学5年生	75	出前講座 森林教室	林業について 名札型キーホルダー作製
69	22 / 12 / 1	富山市立豊田小学校	児童	小学5年生	150	出前講座 森林教室	富山の森、森のはたらきについて 小枝のボールペン
70	22 / 12 / 2	砺波花とみどりの少年団 (庄東小学校)	児童	小学5年生	41	森林教室	巣箱づくりと設置
71	22 / 12 / 8	富山市立小見小学校	児童	小学3～6年生	20	出前講座 森林教室	森林と地球環境 ミニ門松づくり
72	22 / 12 / 11	山室中部 土曜ふれあい 活動運営委員会	児童	小学校1～6年生	53	出前講座 森林教室	森の生き物について 木工工作
73	22 / 12 / 11	射水市立中太閤山公民館	一般		15	出前講座 森林教室	森についてのお話 ミニ門松づくり
74	22 / 12 / 18	射水市戸破女性部	一般		24	出前講座 森林教室	森林の大切さや働きなど ミニ門松づくり
75	22 / 12 / 19	加古川公民館	一般		25	出前講座 森林教室	竹林の大切さを学ぶ ミニ門松づくり
76	22 / 12 / 25	高岡市野村第四自治会長	一般		52	出前講座 森林教室	竹林の大切さを学ぶ ミニ門松づくり
77	22 / 12 / 25	山室町内公民館	一般		23	森林教室	ミニ門松づくり
78	23 / 1 / 19	小矢部市立津沢小学校	児童	小学5年生 小学4年生	46 40	出前講座 森林教室	森林の大切さや働きなど My箸づくり
79	23 / 2 / 1	富山市立山室小学校	児童	小学5年生	89	出前講座 森林教室	森林の働き、私たちの生活と森林 木工クラフト教室(スライス盤)
80	23 / 2 / 4	黒部市立若栗小学校	児童	小学5年生	18	出前講座 森林教室	森林の働き、森林を育てる シイタケ植菌
81	23 / 2 / 5	エコーウッド富山	一般		43	森林教室	木工クラフト
82	23 / 2 / 9	砺波市立庄南小学校	児童	小学5年生	30	出前講座 森林教室	森の働き 小枝のボールペン
83	23 / 2 / 10	富山市立水橋中部小学校	児童	小学5年生	25	出前講座	森林の働き、森林を育てる取組み
84	23 / 2 / 14	富山市立針原小学校	児童	小学5年生	67	出前講座 森林教室	森林・林業に関する基礎的な話 小枝のボールペン
85	23 / 2 / 24	南砺市立井口小学校	児童	小学5年生	13	出前講座 森林教室	私たちの生活と森林 小枝のボールペン
86	23 / 3 / 8	黒部市立宇奈月小学校	児童	小学5年生	47	出前講座 森林教室	間伐と森の関係について きのこの菌の植え付け
87	23 / 3 / 8	立山中央小児童クラブ	児童	小学1～3年生	21	森林教室	シイタケ植菌
88	23 / 3 / 10	南砺市立福野小学校	児童	小学1～6年生	711	森林教室	植樹の仕方
計					6,075		

(参考)実績取りまとめ

年度	開催回数	参加人数
19	46	2,847
20	91	6,175
21	85	5,331
22	88	6,075

『森の寺子屋』開催状況



開催日	平成22年5月28日
開催場所	射水市 太閤山ランド
開催内容	花とみどりの少年団を対象に、クイズを通しての森林の働きを解説



開催日	平成22年5月28日
開催場所	射水市 太閤山ランド
開催内容	花とみどりの少年団を対象に、クイズを通しての森林の働きを解説



開催日	平成22年7月1日
開催場所	富山市立音川小学校
開催内容	小学6年生を対象に、森林の働きと地球環境を解説



開催日	平成22年9月17日
開催場所	砺波市立庄東小学校
開催内容	小学3年生を対象に、森林内を散策し樹木の解説



開催日	平成22年10月2日
開催場所	魚津市松倉公民館
開催内容	小学1～6年生を対象に間伐材の有効利用を解説し、鍋敷きの作成指導を実施



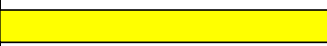


開催日	平成23年1月19日
開催場所	小矢部市立津沢小学校
開催内容	小学4年生を対象に、森林の働きを解説、間伐材を利用した箸づくりの指導を実施

『森の寺子屋』に関するアンケート結果（小中学校）



1. アンケート調査回答数 32回
 （小学校29校：38回、中学校1校：2回）

2. アンケート結果



設問1 『森の寺子屋』実施前と比べ児童・生徒が森林にどの程度の関心を持ったかを3名程度から聞き取り、回答願います。

回答	項目		回答数	グラフ
	1	大変関心を持った	38	 47.5%
2	ある程度関心を持った	36	 45.0%	
3	実施前とかわらない	6	 7.5%	

設問2 今回実施した『森の寺子屋』の内容等について、どう思われますか？

回答	項目		回答数	グラフ
	1	良かった	27	 84.4
2	ふつう	5	 15.6%	
3	良くなかった	0		

設問3 今後も『森の寺子屋』の開催を要望しますか？

回答	項目		回答数	グラフ
	1	要望する	15	 46.9%
2	授業時間などを検討したうえで、余裕があれば要望する	17	 53.1%	
3	要望しない	0		
4	その他（学年によって）	0		

とやまの森づくり普及啓発推進事業

(2)フォレストリーダースキルアップ研修実績

1. 研修実施内容

月日	内容	講師等
平成23年 3月5日	講習「野外活動での安全管理」	NPO法人 国際自然大学校 佐藤 繁一
	講習「人を引きつける話し方」	トヨタ白川郷自然学校 山田 俊行

2. 実施状況写真



講習「野外活動での安全管理」
佐藤 繁一氏



講習「人を引きつける話し方」
山田 俊行氏

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー

Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成22年度事業の実績

(1) 県有施設木質化事業

県民サロンと県議会議事堂において、県産コナラ材の家具を設置しました。

- ・県民サロン：椅子、テーブル各5基
- ・県議会議事堂：テーブル1基、ベンチ2基、棚1基

(2) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・実施施設数 2施設（同朋幼稚園、新湊中部保育園）

(3) 森に親しむ学び舎づくり事業

- ・小、中学校の学童・生徒用机天板を県産材製天板に置換えました。

【実施学校数 7校（魚津市1校、高岡市2校、氷見市2校、入善町2校）】

- ・県産材を活用した特別支援学級用の机、椅子について製品開発します。

(4) とやま木育推進事業

「木育」推進のために県産材遊具のデザイン募集を行い、優秀作品について実際に遊具の製作を行いました。また、これらを県内児童福祉施設やイベント会場でモニター設置しました。今後、これらの県産材遊具の貸出を行います。



県産材こどもの城づくり事業
（射水市 新湊中部保育園）



とやま木育推進事業
（グランドプラザ）



森に親しむ学び舎づくり事業
（県産材製天板導入・魚津市）



県有施設木質化事業
（県民サロンに県産材家具を設置）

水と緑の森づくり事業 県産材利用促進事業

(平成 22 年度実績)

○事業の実施と利用状況 (平成 23 年 6 月現在)

(1) 県有施設木質化事業

県民の目に触れる機会が多い県民サロンや
県議会議事堂において、県産材製品を設置。

- ・ 県民サロン：コナラのいす、テーブル (5 セット)
- ・ 県議会議事堂：コナラのベンチ (2 脚)、意匠棚 (1 セット)



(2) 県産材こどもの城づくり事業

園児デザインによる木製遊具 (こどもの
城) を親子の協力により製作・設置。

- ・ 応募施設 8 施設
- ・ 実施施設 2 施設
同朋幼稚園 (滑川市)
新湊中部保育園 (射水市)
- ・ 実施期間 5 月～11 月

こどもの城に使われる県産材が地元でどのように育てられているかを体験する事で、親子が森や木に対しての意識を醸成することを目的とした、「森の見学会」を8月に開催。



(3) 森に親しむ学び舎づくり事業

①小・中学生用机を県産材天板に置き換えることに対して支援。

- ・実施学校 7校 588枚
大町小学校（魚津市）
万葉小学校、国吉中学校（高岡市）
朝日丘小学校、十三中学校（氷見市）
入善中学校、入善西中学校（入善町）
- ・設置時期 12～3月

②県産材を使用した特別支援学校用机・椅子を開発。

- ・H21年度1次試作品についてモニター調査を行い、不具合を改善し最終設計を実施。
- ・2号机・いす（3セット）
- ・4号机・いす（6セット）
- ・6号机・いす（3セット） 計12セット
- ・委託先 富山大学芸術文化学部
- ・実施期間 5～3月



(4) とやま木育推進事業

「木育」推進のために県産材遊具のデザインを募集し試作品を製作。

- ・応募アイデア数 187作品
（上記のうち優秀賞5作品を試作）
- ・実施時期 5～2月

試作品については、県内児童福祉施設やイベント会場でモニター調査を実施。



(5) 木の香るまちづくり事業

県内の公共施設等に対して、県産材を使用した内装の木質化に対して支援

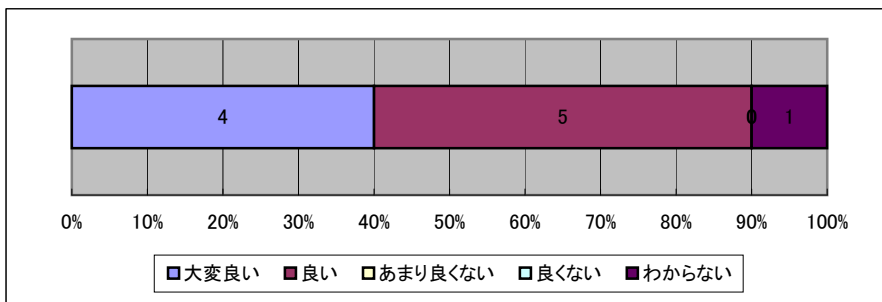
- ・応募施設 1施設
- ・実施施設 1施設
黒部市立中央小学校（黒部市）



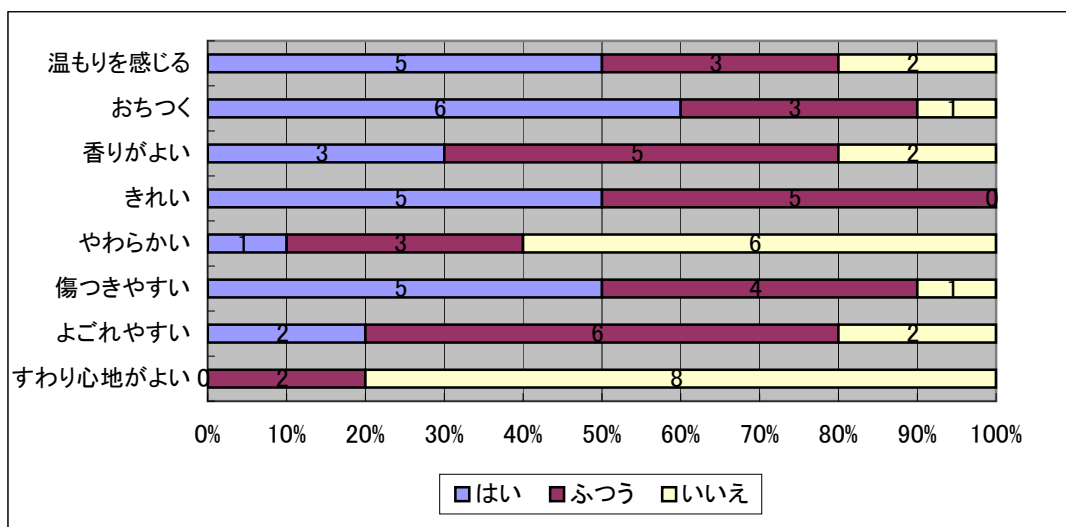
県有施設木質化事業(県民サロン等への備品導入) アンケート集計

回答数	10
-----	----

1. 県産材備品導入に対する感想



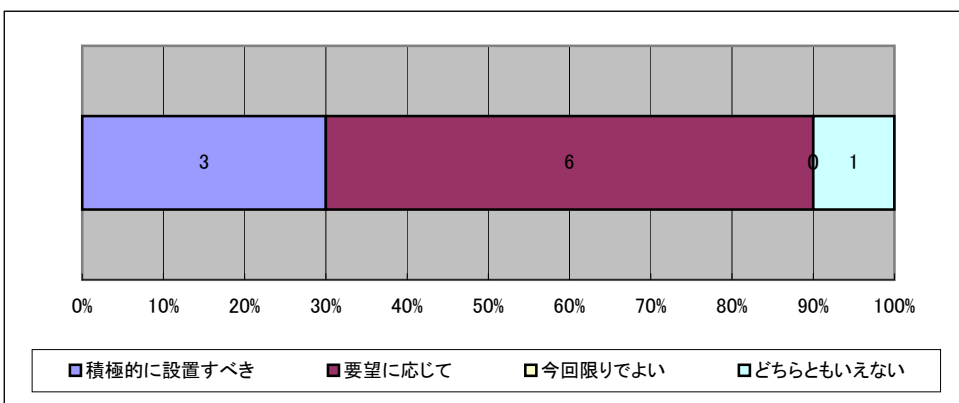
2. 県産材備品に関する印象



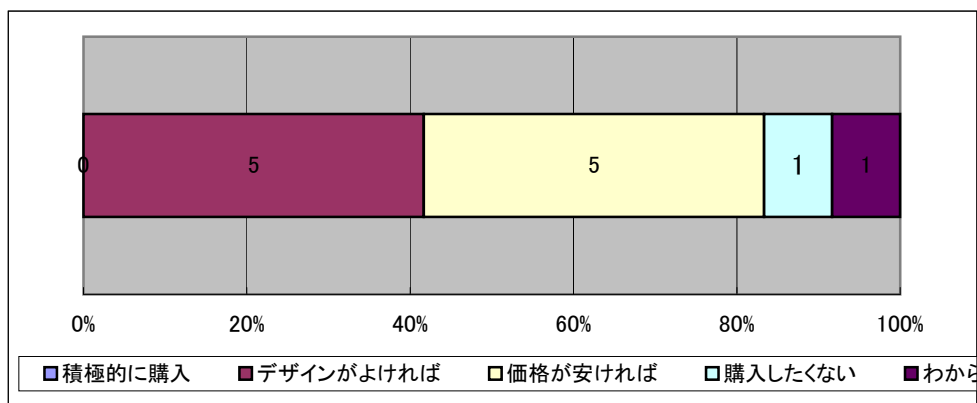
主な自由意見

- ・木材の椅子はもたれかけられないので不便
- ・暖かみのある空間になっていると思います。椅子の肘掛けが水平になっているので使いやすいです。
- ・重そうであり、移動に苦労しそう。少し軽くできないか？背もたれが少し柔らかい材質ならなお良い。
- ・人間工学に基づいたデザイン設計にすべき。県産材の椅子はすわり心地が悪すぎる。
- ・もう少し機能性を重視したデザインがよいと思う。
- ・座りたい椅子には見えない。自分が座ることをもっと考えて欲しい。

3. 今後の設置について



4. 個人的な購入に関する意識

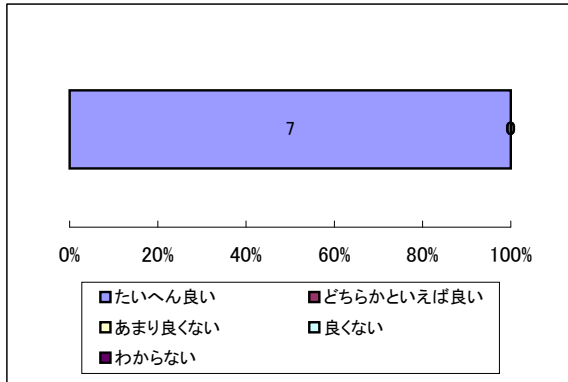


5. 県産材の利活用に関する自由意見

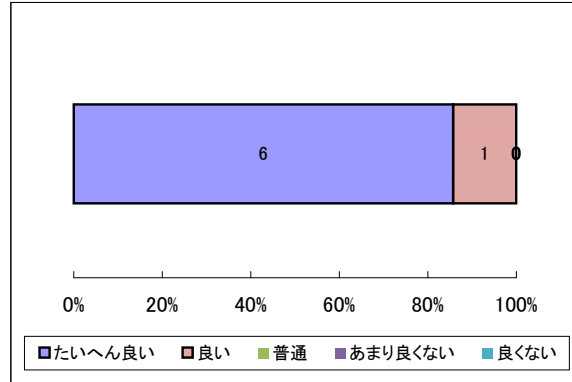
- ・公共施設(講演等も含めて)にどんどん導入してください。
- ・住宅建設に対する助成制度のより一層の拡充と情報提供及び各種を積極的に願う。
- ・もっと性能が良ければ一般の購入が可能になる。
- ・県産材の積極的なPRが必要ではないか？
- ・一般的な人が使いたくなるようなものを作って欲しい。

平成22年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計(保護者)

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうですか。



主な意見

- ・夢のお城。完成までの作業工程が思い出となった。
- ・ただ作るだけでなく塗装作業ができてよかった。
- ・子供たちと一緒に家を作れて楽しかった。大人も子供も夢中になった。

Q.3 使っている子供たちの様子はどうですか。

- ・自分たちで作り上げたという満足感が見られる。
- ・繰り返し遊ぶ姿が見られる。
- ・とても楽しそうにしていたのが印象的。

Q.4 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

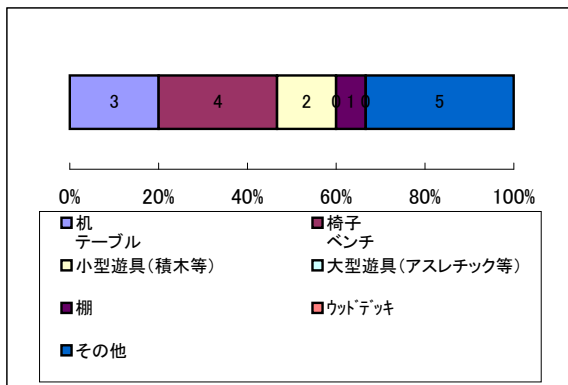
(良い点)

- ・木のぬくもりが癒し効果を与える。地産地消で県の活性化となる。
- ・子供たちが地元の木の良いところを知ることができる。
- ・地産地消のためにより、鉄よりも木の温かさがよい。
- ・老朽化しても修復が容易。

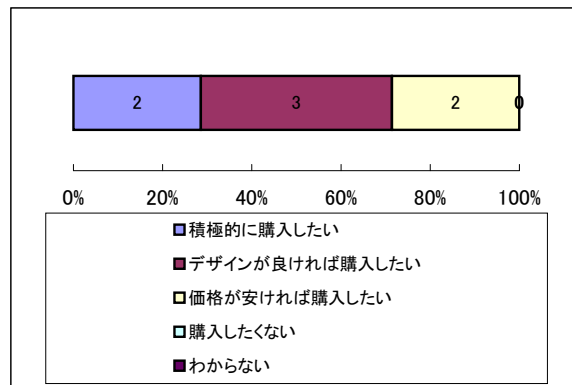
(悪い点)

- ・木材を使うことでメンテナンスが必要となる。強度が劣る。コストがかかる。
- ・強度的に問題ないのか。

Q.5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあつたらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。



Q.7 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

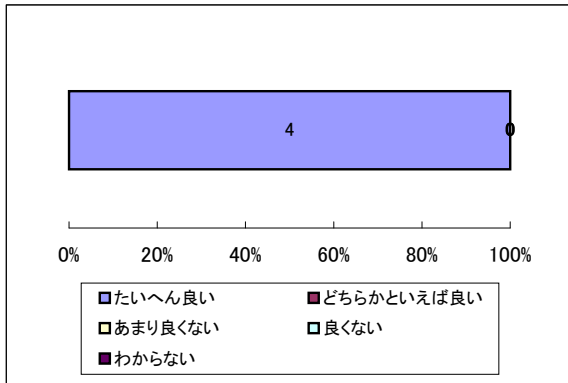
- ・県産材についてクイズ形式で教えてもらうことができ子供たちの理解も深まった。県産材の良さを体全体で感じ取ることができた。
- ・親子で木の勉強ができた。
- ・良い森と悪い森の差がわからなかった。
- ・人数が多くクイズがわかりにくかったが森を散策できて楽しかった。

Q.8 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

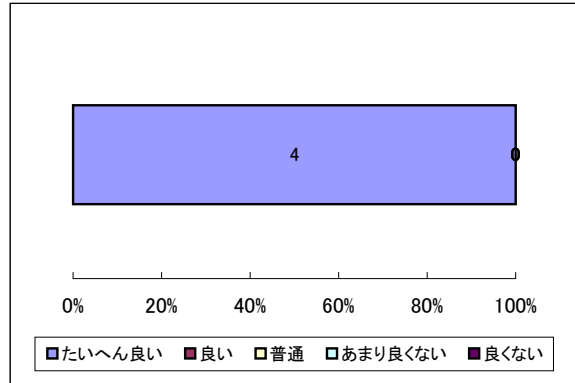
- ・輸入材に価格を近づけることで積極的に県産材を利用できるよう呼びかけてほしい。
- ・もっと積極的に県産材を利用した建物をたてると思う。

平成22年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計(施設職員)

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうか。



主な意見

- ・子供のイメージが遊具としての形となり喜んでいる。
- ・木のぬくもりが伝わる遊具が少ない中で良いと思う。
- ・親子で参加することに意義があり楽しかった。
- ・建築士会の方々も説明が丁寧で安心して参加できた。
- ・子供達が自分達で作ったことに意義があり、他の子ども大事に使う姿が見られる。

Q.3 使っている子供たちの様子はどうか。

- ・子供たちの好きな箇所がいくつもあり喜んでいる。
- ・木や光のぬくもりを感じながら遊んでいる。
- ・自分達で作ったことを周りに自慢して喜んでいる。
- ・子供たちの表情も柔らかく楽しんでおり、戸外遊びで一番に城へ行く。

Q.4 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

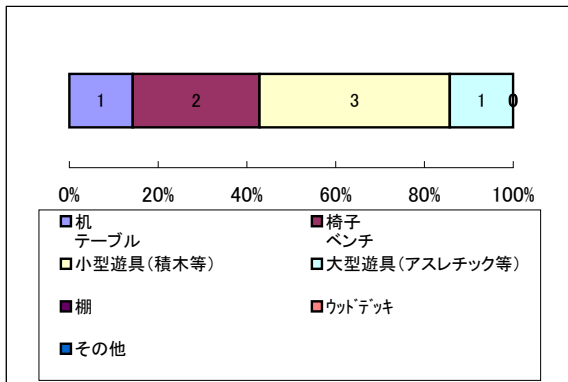
(良い点)

- ・温かみがあり風合いがある。地産地消であり県産材は地域に密着する。
- ・木に触れる機会が増え、既製遊具にはないあたたかみがある。
- ・木のぬくもりが感じられる。見学会を通じてとやまの木ということを理解できる。

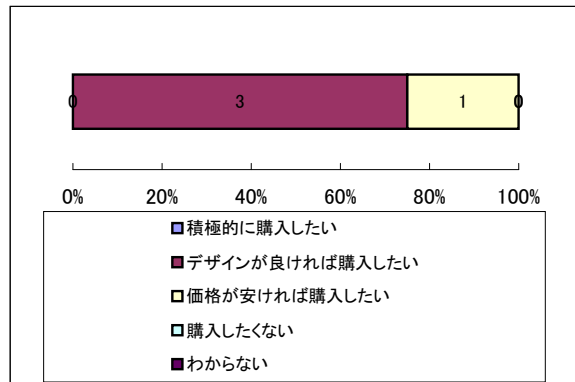
(悪い点)

- ・湿気などでメンテナンスが他のものに比べて多い。

Q.5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。



Q.7 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

- ・森を見る機会が少ないのでとやまの森を見ながらのクイズで理解することは大切と感じた。親子で参加できたことがよかった。
- ・木を見たり散策したりする機会が少なく、子供達は良い経験になった。大勢が参加し聞き取れないこともあったので今後は考慮して欲しい。

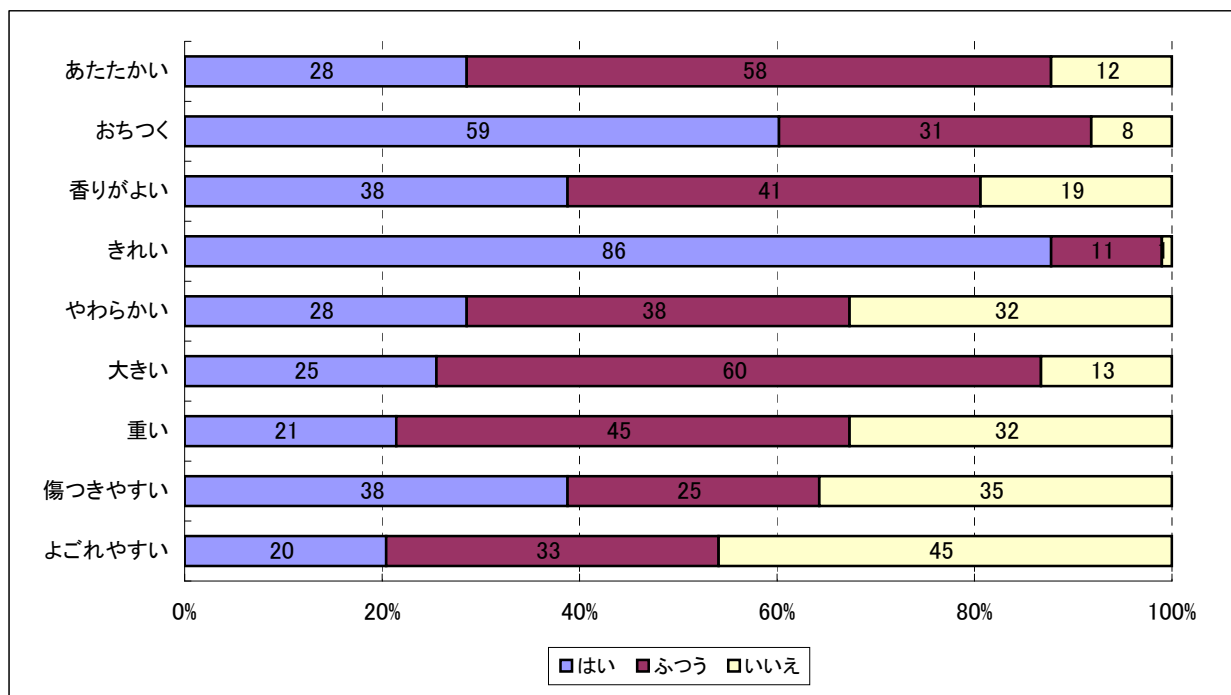
Q.8 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・以前に保育室の壁や床を県産材にしたが、冬は暖かく過ごしやすいため、子供たちは気に入っている。こんな保育室がもっと増えたら良いと思う。
- ・身近に触れられるものがあればよいので積木などを希望する。

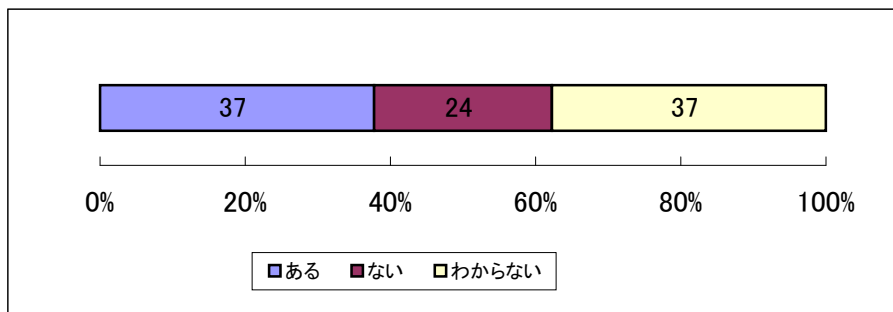
森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校児童用)

回答数	98
-----	----

1. 天板に対する印象



2. 木に対する興味



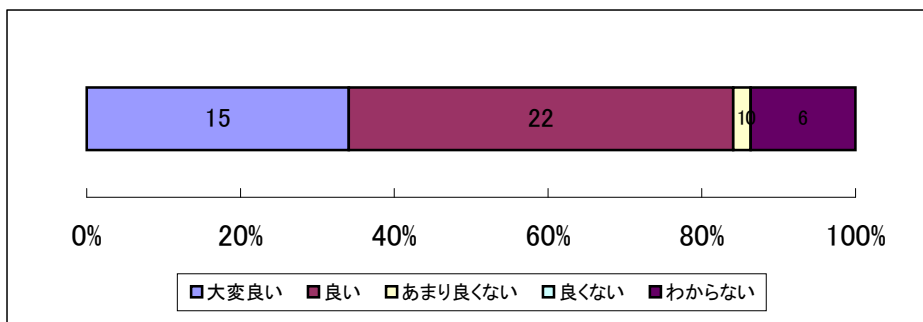
主な自由意見

- ・大事に使えばきれいな机です。富山県に住んでいるという感じがします。
- ・色がきれい。角が丸いからあぶなくない。乾燥するからへこんだりする。
- ・木の温かさが感じられ学習がしやすい。よごれないよう気を付けます。
- ・少し軽くしてほしい。ギシギシいわないようにしてほしい。
- ・香りが教室に広がりとても良いです。
- ・きれいな色で気持ち良くなる。軽くて持ち上げやすい。がたがた揺れないのが良い。
- ・やわらかすぎる。軽くて運びやすい。クリーンな香りだった。
- ・温かく感じる。傷つきやすいところもある。

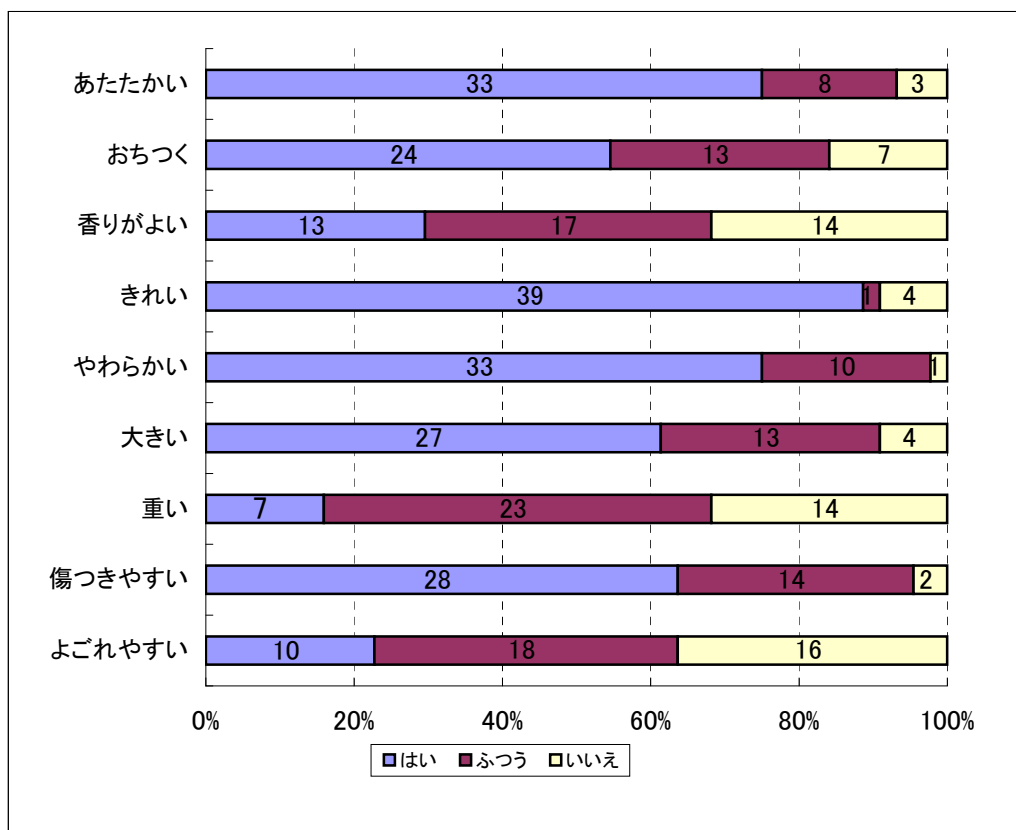
森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校教職員用)

回答数	44
-----	----

1. 天板導入に対する感想



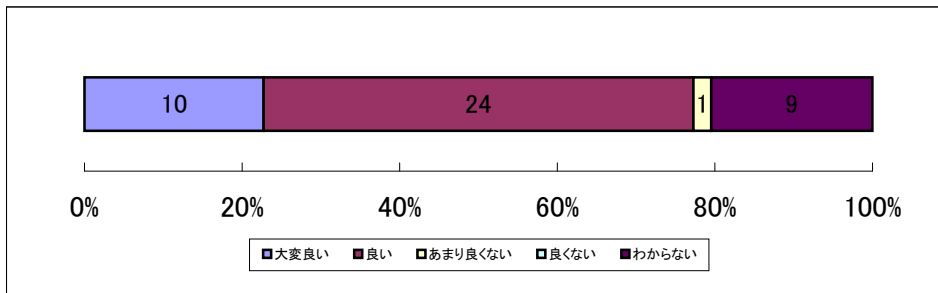
2. 天板に対する印象



主な自由意見

- ・今までの素材よりも清潔感があってとてもよいと思う。また県産材を利用しているため、地域への愛着心がよりもてる。
- ・従来のものよりも厚みがあり、角も丸みがあるので使いやすくあたたかみがあると感じました。
- ・天板がもう少し薄いと軽くて運びやすいのではないかと思います。
- ・本校では6年間使う形で導入しており、自分の机だという意識を持たせて大切にに使わせたい。
- ・机は毎日そして長い年月使用するものなので、表面は傷付きにくいものにしてほしい。
- ・集成材なので色に体感がなく、子供たちが身近に目にする時に落ち着かないのではないかと心配する。

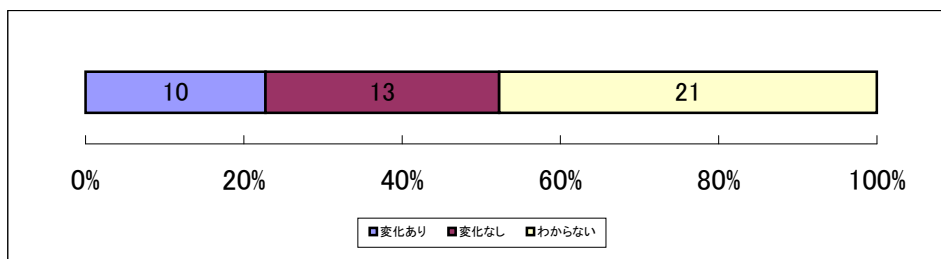
3. 子供たちの印象



主な自由意見

- ・色がきれいであり喜ぶ姿が見られた。大切にしようという意識を持っていた。
- ・明るく美しい木目を喜んでいた。

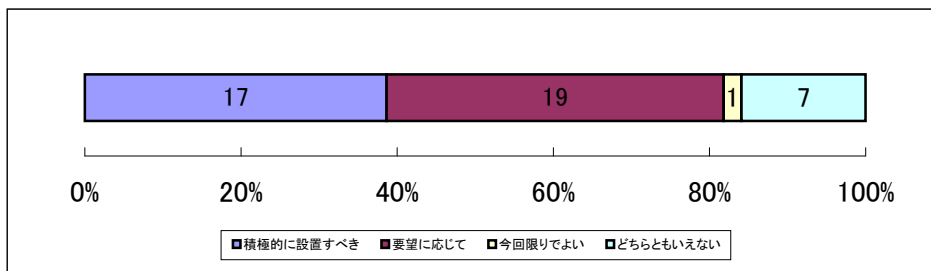
4. 子供たちの変化



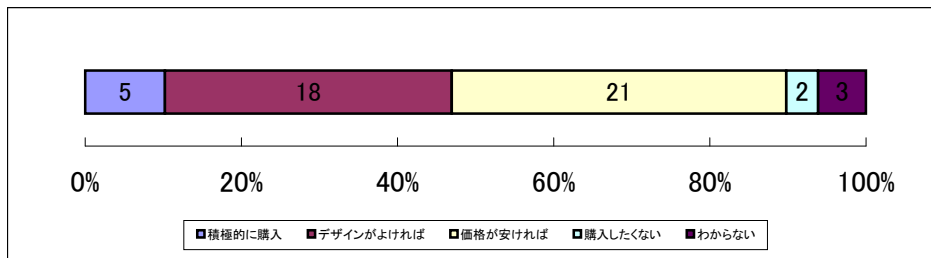
5. 具体的な変化の内容

- ・「自分の机である」「県の木を使っている」ことから、大切にしようとする意識が高まった。
- ・少しやわらかめなので取扱いに注意する姿が見られる。

6. 今後の設置について



7. 個人的な購入に関する意識



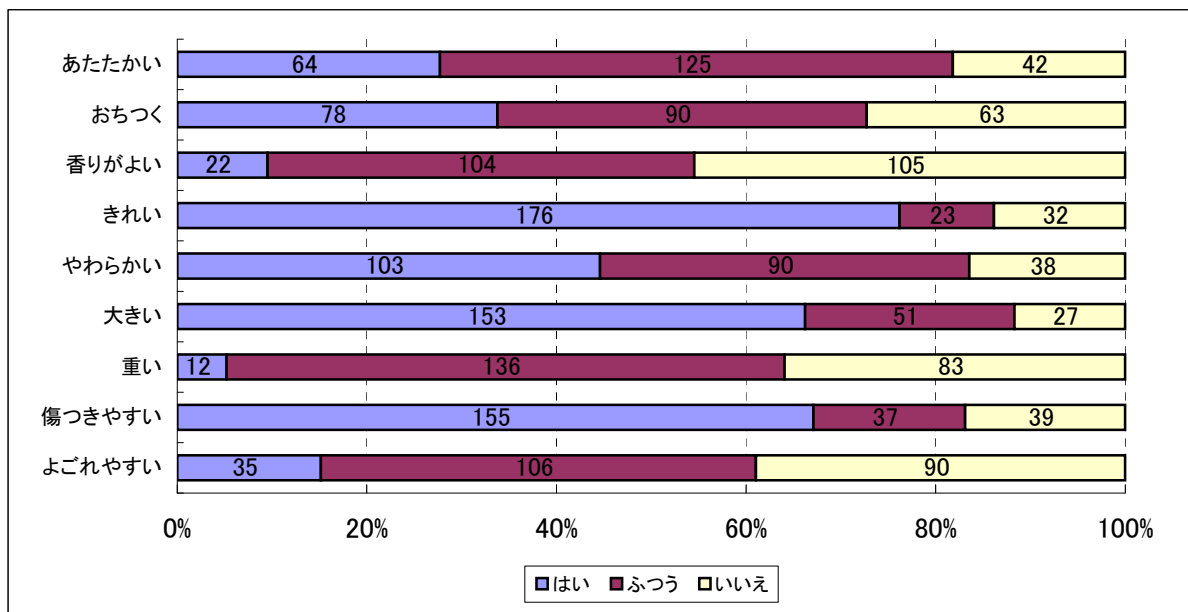
8. 県産材の利活用に関する自由意見

- ・県産材を机やいすなどに積極的に活用していけばいいと思います
- ・どこにいったら県産材のものを売っているかという情報があればよい。
- ・家具のキット等があれば教材としても活用していけるかもしれない。公共の場に積極的に用いて良さをPRしていけばどうか。
- ・今後のメンテナンスの部分も含めて適宜対応してもらえると嬉しいです。

森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(中学校生徒用)

回答数 231

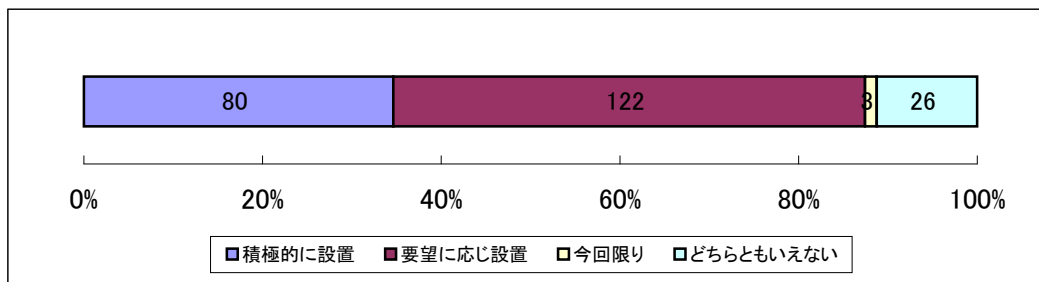
1. 天板に対する印象



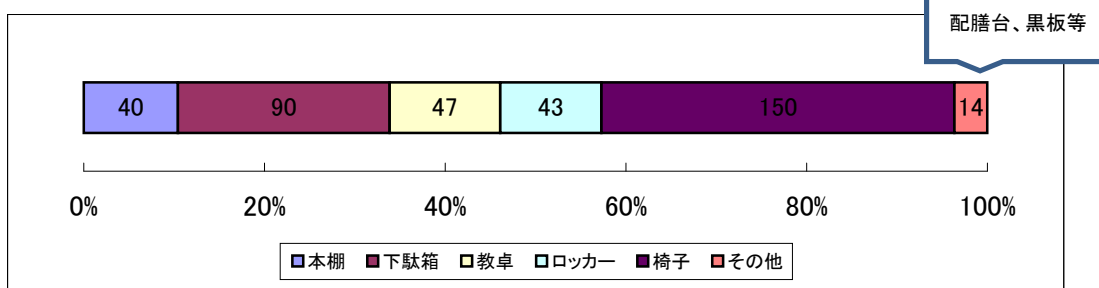
主な自由意見

- ・木材の感じは良いが、ただ傷つきやすいのであまり机にはあわない。
- ・木目が美しかった。色が薄くてきれいだった。さわり心地が良かった。
- ・木の模様がよかった。木目がきれいだった。
- ・木目がとてもきれいでいかにも自然素材という感じがしました。
- ・すぐに傷付いてしまうので丁寧に使っていきたくて考えています。
- ・勉強がしたくなる机だと思いました。軽くて持ち運ぶときに便利だと思います。

2. 今後の設置について

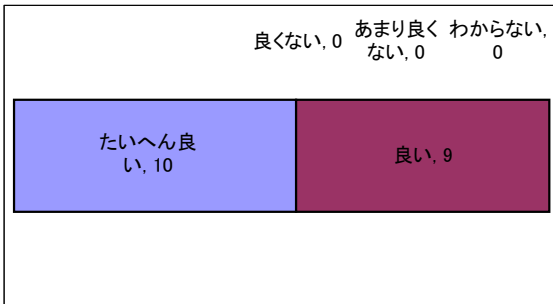


3. 学校にあれば良いと思われる県産材製品



平成22年度 とやまの木を使った遊具に関するアンケート集計(対象者:施設職員)

Q.1 あなたから見た「とやまの木を使った遊具」に対する印象はどうですか。



- (主な意見)
- ・木の香りがよかった
 - ・温もりを感じた

Q.2 使っている子供たちの様子はどうでしたか

- (主な意見)
- ・楽しそうだった
 - ・「良いにおいがするね」という子がたくさんいた
 - ・友達と工夫しながら遊ぶ姿があった

Q.3 それぞれの遊具について、良いと思われる点や悪いと思われる点を記入ください。

こだち(ジャングルジム)

- | | |
|----------------|-------------|
| (良い点) | (悪い点) |
| ・体全体で楽しめた | ・大きいので危険も大き |
| ・回って遊ぶことができた | ・低年齢用のミニサイズ |
| ・丸く削られていて安全だった | ・があると良い |

こどもの街(ミニチュアハウス)

- | | |
|--------------------|-------------|
| (良い点) | (悪い点) |
| ・組合せを工夫できた | ・隙間ができ動いたのが |
| ・くぐったり、隠れたり楽しそうだった | ・気になった |
| | ・遊びに変化がない |
| | ・もっと段があると良い |

コロコロアート(玉のおもちゃ)

- | | |
|-----------------------|----------|
| (良い点) | (悪い点) |
| ・並べたり、転がしたりと遊びを工夫でできた | ・遊び方に悩んだ |
| ・落ち着いて遊ぶことができた | ・枠があれば良い |
| | ・投げると危険 |

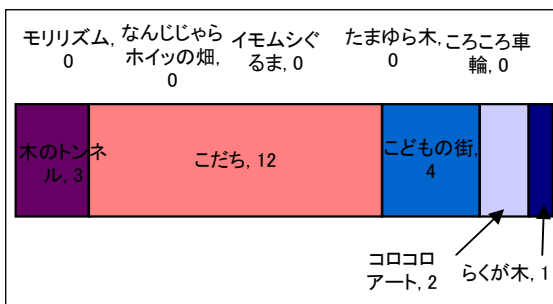
らくが木(黒板の遊具)

- | | |
|-------------|----------------|
| (良い点) | (悪い点) |
| ・落書きを楽しんでいた | ・周りや衣服が汚れる |
| ・目新しい | ・チョークの粉は体に良くない |
| | ・書くところが狭い |

ころころ車輪

- | | |
|----------|---------------|
| (良い点) | (悪い点) |
| ・体づくりによい | ・持ち上げる子がいて危険 |
| | ・興味を持つ子が少なかった |

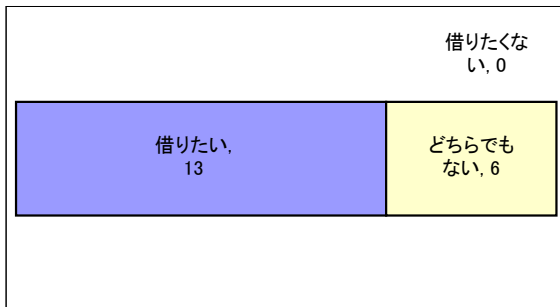
Q.4 どの遊具が一番好きですか?○を付けて下さい。



Q.5 県がイベント等でこれらの遊具を貸出していることを知っていますか?



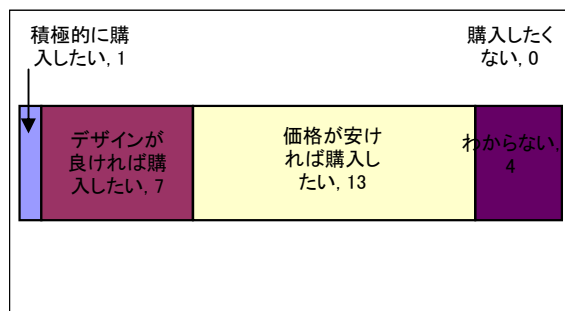
Q.6 もし保育園や幼稚園で親子活動等のイベントがあった際に借りたいと思いますか。



Q.7 子供たちやその家族に気の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園などにあつたらよいと考えられる木材製品は何ですか。

- ・積木
- ・ベンチ
- ・机、椅子
- ・おもちゃ(電車、車、ままごと道具、滑り台)

Q.8 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。

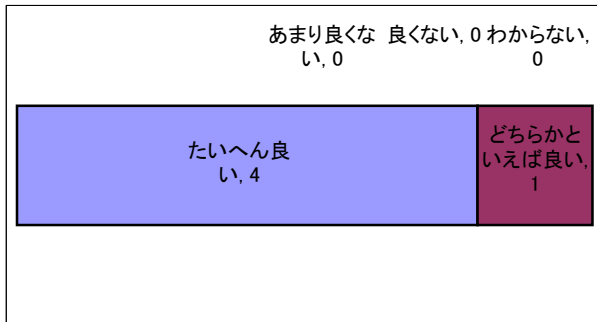


Q.9 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・木の値段は高いイメージがあり購入しづらい
- ・どんどん県産材を活用し学校等においてももらいたい
- ・街中に県産材の遊具で遊べる場所があれば良い
- ・大々的に宣伝すれば良い

平成22年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設利用者)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

(良い点)

- ・暖かみや温もりがある
- ・自然に優しい
- ・体に優しい

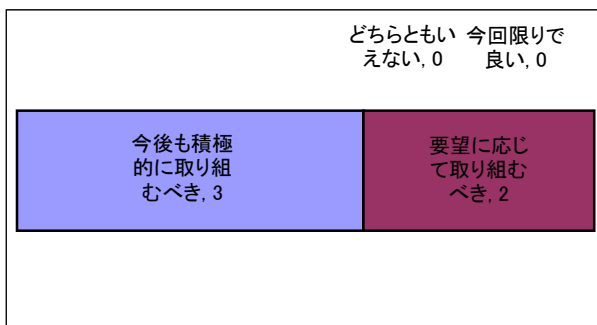
(悪い点)

- ・接着剤が体に悪い
- ・色が限られている
- ・キズがつく

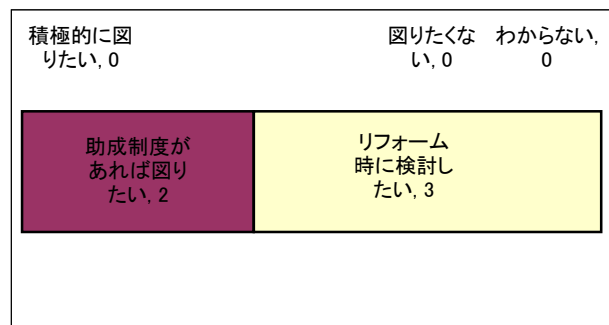
(主な意見)

- ・県内林業の発展のために良い
- ・暖かみがありとても良い
- ・県産材の使用をはじめて知った
- ・自然に触れているような気がする

Q.3 このような公共施設等の内装木質化の取組みをもっと進めるべきと考えますか。



Q.4 あなたの住んでいる住宅において、内装に木材を使ってみたいと思われましたか

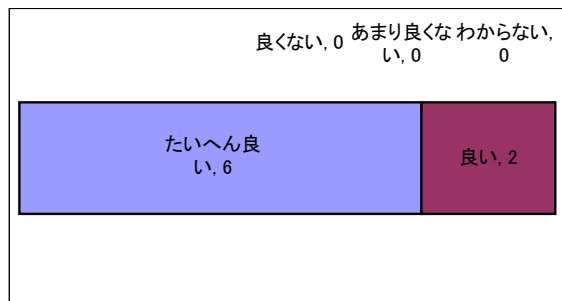


Q.5 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

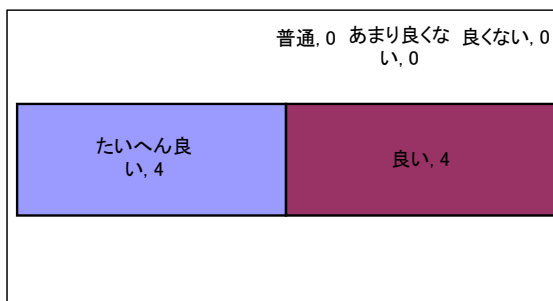
- ・使用する人に県産材であることを、もっとPRするべき

平成22年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設職員)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た県産材を使った内装木質化に対する印象はどうですか。



(主な意見)

Q.3 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

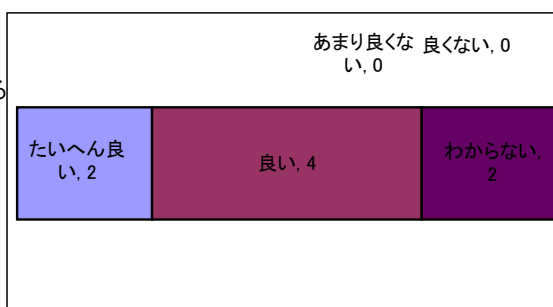
(良い点)

- ・暖かみがある
- ・温もり
- ・汚れが目立たない
- ・調湿・断熱効果
- ・木の香り
- ・健康に良い
- ・落ち着く

(悪い点)

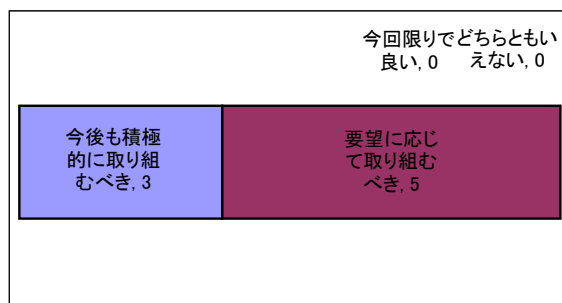
- ・メンテナンスにコストが掛かる
- ・キズがつきやすい
- ・使用場所により木材を選ぶ
- ・水気に弱い

Q.4 県産材を使った内装木質化に対する利用者の印象はどうですか。

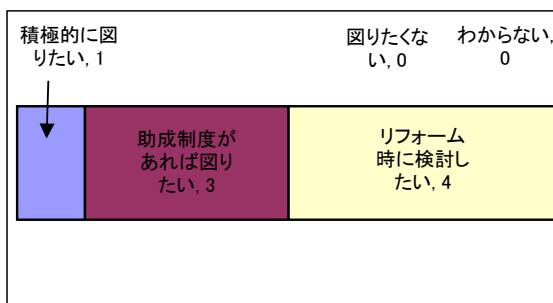


(主な意見)

Q.5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設等の内装の木質化を図ることについてどう思いますか。



Q.6 あなたの住んでいる住宅において、このような内装木質化を図ってみたいと思われましたか。



Q.7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・他材料とバランスをとって価格設定を行えばよい

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—
Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。
また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成22年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年4月19日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成22年度実績】

・ 応募件数27件 実施件数25件



スギ林や広葉樹林を整備し、地元の小学生を招いて森林教室を開催して、間伐材の搬出体験などを行いました。また、搬出した間伐材を活用して木工教室を開き、ベンチなどを製作しました。（東山見森林振興会）



「木いちご探検隊」と題し、学校林を守っている地域の方々とPTAと一緒に、子供たちが一人一人カメラを持って学校林の探検に行きました。（上市町立南加積小学校PTA）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業のアイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年12月2日開催）で審査のうえ、事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数 4件

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
1	東山見森林振興会	砺波市庄川町名ヶ原外 地内	313名
	<p>①広葉樹林の整備と伐採木を活用したキノコの植菌 ②スギ林を間伐し、間伐材を用いたベンチ製作</p> <p>スギ林の間伐、広葉樹林の除伐により明るく人が入りやすい里山になった。 間伐材の出材体験や木工教室を通して、地域の子供たちに森林の大切さ、木材利用の大切さを普及啓発することができた。</p>	 間伐材搬出体験	 間伐材を活用した木工教室
2	雄神地区森林振興会	砺波市庄川町庄外 地内	243名
	<p>①広葉樹林整備と伐採木のキノコ植菌 ②H2Oに植菌したキノコの収穫と料理教室 ③炭づくりと炭の活用体験 など</p> <p>当地域の背後に広がる広葉樹林の整備と伐採材の活用を通じて、地域の里山を見直すきっかけとなり、また、継続的な整備と利用への意識が高まった。</p>	 広葉樹林の整備	 キノコ料理教室
3	森と仲間づくり炭竹会	氷見市上田 地内	119名
	<p>①作業道120mを開設 ②作業道周辺の放置竹林の整備 ③広葉樹に転換する場所へのクヌギ植栽</p> <p>作業道120mを開設し、既存の耕作道と連結したことにより更なる竹林整備と竹材の利用が進むことが期待される。 また、クヌギの植栽を通して、広葉樹林への転換を進めることができた。</p>	 作業道を活用した竹林整備と竹材のチップ化	 クヌギ植栽箇所の下刈り
4	阿古屋野森づくりクラブ	黒部市阿古屋野 地内	412名
	<p>①阿古屋野台地の森林整備と遊歩道整備 ②森林観察等に活用するツリーハウス作り ③間伐材を利用した木工品製作 ④木登りや炭焼き体験など森林環境教育</p> <p>間伐材を活用したツリーハウスが完成したことにより、間伐材の活用方法を紹介するとともに植生観察への利用、木登り体験等多様な森林環境教育の展開が可能となった。</p>	 阿古屋野台地の森林整備	 ツリーハウスと木登り体験

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
5	小長沢大山の森を守る会	富山市婦中町小長沢 地内	170名
	<p>①地域内の放置竹林の整備 ②伐採竹を活用したミニ門松や間伐材を活用した花鉢を製作と地域の緑化活動 ③伐採木を活用したキノコ植菌、里山空間を活用した栽培</p> <p>地域内にあった放置竹林の整備が進み、また、整備跡地での親子タケノコ堀体験も開催することができた。 間伐材や伐採竹の利用を通して、地域の緑化活動も行うことができ、住民の地域の里山への意識も高まった。</p>	 <p>放置竹林の整備</p>	 <p>伐採竹を活用した花器づくり</p>
6	梅檀山地区森林振興委員会	砺波市夢の平	159名
	<p>①梅檀山地区の森林現況調査 ②夢の平周辺の森林整備と小路づくり ③間伐材プランターボックス等のクラフト教室</p> <p>夢の平レクリエーション地帯において、森林内を散策できる空間ができた。また、森林調査やクラフト教室により、地区住民の自然や森林に対する意識が高まった。</p>	 <p>森林整備と小路づくり</p>	 <p>プランターボックスづくり</p>
7	山平の森を育てる会	富山市今生津 地内	187名
	<p>①竹林など荒廃森林の整備 ②伐採木を活用したキノコ植菌、伐採竹を活用した花木の雪囲いなど</p> <p>荒廃の進んだ侵入竹の整理、スギ林の間伐など計画通りに行うことができた。 また、伐採木の有効活用なども今まで以上に進めることができた。</p>	 <p>竹林の整備</p>	 <p>キノコの植菌作業</p>
8	NPO黒河竹炭友の会	射水市黒河新 地内	192名
	<p>①放置竹林の整備 ②子供たちのタケノコ掘り体験 ③竹炭の製造</p> <p>放置竹林を整備したことで、地域内の道路が積雪により通行止めになることが無くなった。また、子供たちのタケノコ掘り体験では約30人の親子が参加し、地域の森林の現状について普及啓発することができた。</p>	 <p>竹林の伐採</p>	 <p>タケノコ掘り体験</p>

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
9	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼 地内	122名
	<p>①竹林と広葉樹林の整備 ②間伐材でのおもちゃづくりなど森林資源の利用</p> <p>竹林等の整備が進み、クマなど野生動物との緩衝帯としての役割を実感した。 また、おもちゃづくりや炭焼き体験などを通して、森林資源を有効活用することの意義を普及することができた。</p>	 竹林の整備	 間伐材によるおもちゃづくり
10	しんゆう倶楽部	富山市割山 地内	217名
	<p>①竹林等森林整備および林内遊歩道整備 ②間伐材を活用した大乘悟山への案内看板製作・設置 ③伐採竹を利用した竹細工や竹炭の製造</p> <p>森林整備や案内看板の設置により大乘悟山へのアクセスが良くなった。 また、竹材を利用して楽器づくりや竹炭による消臭製品を製作などにより、竹材の利用方法を普及することができた。</p>	 竹林の整備	 竹細工
11	閑乗寺の会	南砺市井波 地内	254名
	<p>①カシナガ被害木等の除去と侵入竹の整備 ②炭焼き体験会の実施</p> <p>予想以上にカシナガ被害木や松くい被害木の整理が進んだ。 また、伐採竹を利用した流しソーメンや製造した炭による工芸品を製作し、地域のイベントに出展するなど、想定以上の活動を行うことができた。</p>	 マツクイ被害木の伐採	 竹炭の製造
12	綾子里山再生利用の会	小矢部市埴生外 地内	65名
	<p>①台風被害林の伐採・整備 ②風倒木を活用したテーブル、ベンチの製作、埴生地区コミュニティ広場への設置</p> <p>風倒木を整理し、地元青年団との協働でテーブル・ベンチを製作して地域のコミュニティ広場に設置した。 地域の人たちの里山再生に対する意識の高揚につなげることができた。</p>	 被害木の集材	 テーブルの設置

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
13	木を植える会	氷見市新保 地内	16名
	<p>新保地区の地滑り跡地に多様な生物の住む森林を再生するため、サクラ、ウメ、タブ、シイ、クルミなど多種多様な樹種を植栽</p> <p>四季の変化を体感できるよう10種類もの花木等を約240本植栽した。 達成感とともに新たな森づくりへの意欲につながった。</p>	 <p>広葉樹苗の植栽</p>  <p>植栽木の支柱設置</p>	
14	ビーフレンド山と森の共同組合	南砺市杉尾 地内	32名
	<p>①カシナガ被害木等の伐採と花木の植栽 ②ミツバチの巣箱を設置 ③キノコ植菌教室の開催</p> <p>カシナガ被害木などの伐採により荒廃した里山を整備した。また、伐採木を利用してニホンミツバチの巣箱を製作し、林内に設置した。</p>	 <p>カシナガ被害木の伐採</p>  <p>間伐材を活用したミツバチの巣箱かけ</p>	
15	南谷地区振興会	小矢部市岩尾滝 地内	63名
	<p>①旧岩尾滝小学校の裏山の歩道整備 ②歩道を活用した周辺森林の整備 ③間伐材を活用したベンチの製作・設置</p> <p>計画通り歩道の設置を行い、樹木の名札かけベンチの設置も行うことができた。 市内外からの来訪者に森林の役割などの理解の場を提供することができるようになり、都市との交流が進むことが期待される。</p>	 <p>歩道づくり</p>  <p>周辺森林の倒木処理</p>	
16	川原保育園保護者会	魚津市坪野 地内	261名
	<p>①自然保育の実践 ②森林内でのお絵かきボード等遊具の設置 ③森林内での公開保育の開催</p> <p>保護者やたくさんの一般参加者とともに、自然体験を通して自然の大切さや自然を身近に感じる活動を行うことができた。 また、ボランティアの協力により自然保育の活動に必要な環境整備や森林整備が進んだ。</p>	 <p>森林内での自然保育体験</p>  <p>保護者の参加による植樹体験</p>	

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
17	きんたろう倶楽部	富山市西金屋外 地内	200名
	<p>①活動拠点となる竹製の小屋・ベンチの製作 ②森林療法やノルディックウォーク体験会の実施 ③森の感謝祭の開催</p> <p>活動拠点となる小屋づくりにより森の利活用に対する意識が更に高まった。また、森林セラピー体験等により森の新たな活用方法を普及することができた。更に、森の感謝祭の開催により会員相互の交流と今後の活動への意欲が高まった。</p>	 伐採竹等を活用した活動拠点の小屋づくり	 森林セラピー体験
18	ふるさと種	上市町西種 地内	120名
	<p>①荒廃森林の整備と間伐材を活用したベンチの製作・設置 ②伐採技術研修会の開催</p> <p>森林整備により地域環境が明るくなり、また、神社境内にベンチを設置し、地域住民の憩いの場となった。 また、伐採技術研修会を開催し、森林整備に対する意識が高まった。</p>	 伐採技術研修会	 間伐材によるベンチ
19	森のむささび	小矢部市五位 地内	175名
	<p>①里山林の整備 ②伐採木を利用した炭づくり ③子撫川の浄化を目的とした炭の設置</p> <p>約8カ月間、ほぼ毎週末定期的に着実に活動し、予定していた約8haの里山の整備を行うことができた。 また、地域の河川の浄化用として伐採木を活用して炭づくりを行った。</p>	 里山林の整備	 炭づくり
20	夢創塾	朝日町蛭谷 地内	502名
	<p>①里山林の整備と伐採木の炭焼き ②熱発電装置と木炭電池の製作及び里山のライトアップ</p> <p>炭窯の熱と谷川の水の温度差を利用した熱発電装置と木炭を活用した電池を製作し、既存の水車、風車、太陽光による発電とあわせて、里山の樹木や小屋などを電飾でライトアップした。 PR効果が非常に高く、森の恵みで発電できること、森林のありがたさ・大切さ、森林整備の重要性をおおいにアピールできた。</p>	 地元小学生も参加して伐採木の搬出	 窯の天井で熱発電 熱発電で電飾点灯

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
21	樵舎	南砺市利賀村上百瀬外 地内	36名
	<p>①千束地区の巨木調査 ②植生調査技術講習 ③県産広葉樹による森づくり ④会誌発行による利賀地区の巨木の紹介や会の活動紹介</p> <p>利賀地域の森林調査、情報発信を行うとともに、植生調査講習会ではロープクライミング技術講習も行い、活動に必要な技術の習得に役立った。</p>	 巨木調査	 植生調査技術講習会(ロープクライミング)
22	上市町立南加積小学校PTA	上市町黒川 地内	107名
	<p>①学校林を活用した自然観察会の開催 ②地域の「つくしの会」との協働による学校林の整備 ③伐採木を活用したベンチの製作・設置とドングリの植え付け</p> <p>これまで十分に活用されていなかった学校林における自然体験活動や学校林からの伐採木を活用したベンチづくりを通して、環境問題や森づくりに対する意識の醸成、学校林を守ってくれている地域の人たちとの関わりを深めることが出来た。</p>	 学校林での自然観察会	 伐採木を活用したベンチづくり(卒業製作)
23	南郷の里山を考える会	射水市串田 地内	292名
	<p>①侵入竹の伐採整理と作業路の整備 ②里山林整備に関する講習会の開催</p> <p>侵入竹の伐採、チップ化を進め、かつての南郷丘陵の姿に戻りつつある。また、地区のウォーキング大会にも活用されるなど住民への活動の周知、里山保全への理解を深められた。</p>	 伐採竹のチップ化作業	 林内作業路の整備
24	東福寺資源活用研究会	滑川市東福寺 地内	51名
	<p>①竹林や広葉樹林の整備 ②伐採木竹や農作物等を活用した堆肥製造研究と農作物生育実証実験</p> <p>竹林、広葉樹林の整備が進み、冬期間の積雪による倒木、除雪困難の解消につながった。 また、堆肥化を進め、農業利用への足がかりができ、来年以降の作物の出来に期待がかかる。</p>	 竹林の整備とチップ化	 竹堆肥の果樹への施肥

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
25	富山県がうん天蚕の会	富山市八尾町檜尾 地内	303名
	①クヌギ林の整備と天蚕飼育 ②「天蚕の世界」講演会の開催 講演会により天蚕の魅力を多くの方に伝えるとともに、八尾の伝統産業の継承、天蚕を通じた里山利用と中山間地域活性化に弾みがつく活動を展開することが出来た。	 <p>クヌギの植栽</p>	 <p>繭の収穫</p>

H22年度合計

実施団体数	25団体	4,611名
-------	------	--------

【参考】

実施団体、参加延べ人数の推移

年度	実施団体数	参加延べ人数
H19	15団体	3,935名
H20	20団体	3,577名
H21	25団体	5,055名
H22	25団体	4,611名

平成22年度 県民からの森づくり事業アイデア提案 一覧

1. 新たな事業の提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対応（案）	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
森林の整備や利活用	1—①	スギ、ヒノキの表皮のはく離体験の実施	スギやヒノキの表皮をはく離することは、中学生や企業のボランティアも安全に作業できる間伐方法であり、伐採計画が容易になる。多数の方が森林整備に参加いただける。	不採用	○スギ、ヒノキの表皮のはく離による間伐は、全国的にも実施例が少なく、本県においては下記の理由により実行は難しいと考える。 ・表皮をはく離すると1年で樹木は枯れるが、そのままにしておくとう害虫の発生や倒木の危険性があり、人家周辺等では実施が難しいこと ・このため、枯れ木を伐倒処理する必要がある、2度手間となる。また、枯れ木の伐倒作業については危険が伴うこと
県民意識の醸成	1—②	仮称「豊かな とやまの森をまもる日」の創設	「豊かな郷土 とやまの森をまもる日」（仮称）を年一回定め、県民総ぐるみで森づくりを考える日、森づくり活動を実践する日を設ける。森づくりの必要性を認識してもらうことが可能となる。	対応済み	○「森づくりを考える日」については、今年度はじめて実施した「県民参加の森づくりフェア」をはじめ、タウンミーティングの開催や各種イベントへの出展、パンフレットなどの作成・配付、県政番組の製作・放送など様々な手段を活用して、森林の大切さ、森づくりの重要性を県民の皆さんに広報してきたところである。 ○「森づくり活動を実践する日」については、9月第3日曜日の森林ボランティアの日に「とやまの森づくりボランティアの集い」を平成18年度から毎年開催しているほか、「とやまの森づくりボランティア交流会」や「とやま森の祭典」などを開催し、県民の森づくりへの参加を促進する取組みを行っている。 今後、機会を捉えて、より多くの県民に森づくりの大切さをPRしていくとともに、実際の活動についても、多くの方に参加いただけるよう努めて参りたい。
森林資源の利活用	1—③	県産材を活用した小・中学校における森林環境教育の実施	未利用の間伐材や製材の端材を学校へ配送し、図工の木工工作の授業で、この県産材を使用するとともに、専門の教員（指導者）を養成する。	一部採用	○現在実施している「森の寺子屋」は、児童が県産材に触れあうことにより森づくりへの理解が深まることを目的に、県が養成したフォレストリーダーにより、小学校と連携して総合学習等の授業において、簡易な木工工作（箸や巣箱など）の製作指導を行っている。 ○今回の提案を活かし、学校との連携をより深めるため、製作記念として学校に設置して利用するようなプランター等の大型木製工作物の製作に取り組みたい。

2. 既存の事業を改正する提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対応（案）	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
その他	2—①	各市町村に富山の森づくり推進課の開設	県民実践活動事業（県民自らが企画・実践する森づくり活動を支援する事業）の補助金交付窓口（県の機関）を各市町村の中に設置する。このことにより、きめ細かな、迅速な指導が可能となる。 申請手続きが煩雑であり、使用した経費の根拠資料など書類作成の負担が大きい。簡素化してほしい。	不採用	○県の出先機関を市町村に設置することは困難である。今後は県と市町村と連絡を密に取るなどして、指導を求める事業実施者への迅速な対応に努めてまいりたい。 ○事業に要した経費の確認については、補助事業の性格上必要なことであり、今後は事業実施者に資料の提出を求めていきたい。なお、提出書類については、これまでも必要最小限なものをお願いしてきたところであり、今後は、郵送やメールによる提出をなどによる簡素化について逐次検討してまいりたい。